

東北地区 大学図書館協議会誌

第 65 号
平成 26 年 4 月



八戸工業大学図書館

加盟館一覧

表紙裏面

寄稿 図書館就職に关心のある大学生等は何を知りたいのか	1
第 68 回東北地区大学図書館協議会総会	12
日程	12
総会資料	13
大学教育部会活動報告資料	25
総会議事メモ	31
出席者名簿	33
図書館統計年報	37
協議会総会当番地区・当番大学	40
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	41
東北地区大学図書館協議会会則等	42
加盟館職員名簿	53

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘 前 大 学 附 属 図 書 館	036-8560	弘前市文京町 1	(0172)39-3155
岩 手 大 学 図 書 館	020-8550	盛岡市上田 3 - 18 - 8	(019)621-6082
東 北 大 学 附 属 図 書 館	980-8576	仙台市青葉区川内 27 - 1	(022)795-5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町 1 - 1	(022)717-7973
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 3	(022)795-6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 6 - 03	(022)795-5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町 1 - 1	(022)717-8882
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉 149	(022)214-3348
秋 田 大 学 附 属 図 書 館	010-8502	秋田市手形学園町 1 - 1	(018)889-2273
同 医 学 図 書 館	010-8543	秋田市本道 1 - 1 - 1	(018)884-6052
山 形 大 学 小 白 川 図 書 館	990-8560	山形市小白川町 1 - 4 - 12	(023)628-4904
同 医 学 部 図 書 館	990-9585	山形市飯田西 2 - 2 - 2	(023)628-5054
同 工 学 部 図 書 館	992-8510	米沢市城南 4 - 3 - 16	(0238)26-3019
同 農 学 部 図 書 館	997-0037	鶴岡市若葉町 1 - 23	(0235)28-2810
福 島 大 学 附 属 図 書 館	960-1293	福島市金谷川 1	(024)548-8083
(公 立 12 館)			
青 森 公 立 大 学 図 書 館	030-0196	青森市合子沢字山崎 153 - 4	(017)764-1551
青 森 県 立 保 健 大 学 附 属 図 書 館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬 58 - 1	(017)765-2011
岩 手 県 立 大 学 メ デ ィ ア セン タ ー	020-0693	岩手県滝沢市巣子 152 - 52	(019)694-2070
宮 城 大 学 総 合 情 報 セン タ ー	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑 1-1	(022)377-8313
秋 田 県 立 大 学 図 書 ・ 情 報 セン タ ー	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西 241 - 438	(018)872-1561
秋 田 公 立 美 術 大 学 附 属 図 書 館	010-1632	秋田市新屋大川町 12 - 3	(018)886-8106
国 際 教 養 大 学 図 書 館	010-1292	秋田市雄和椿川字奥椿岱 193 - 2	(018)886-5907
山 形 県 立 保 健 医 療 大 学 附 属 図 書 館	990-2212	山形市上柳 260	(023)686-6671
山 形 県 公 立 大 学 法 人 附 属 図 書 館	992-0025	米沢市通町 6 - 15 - 1	(0238)22-7334
会 津 大 学 情 報 セン タ ー 附 属 図 書 館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀	(0242)37-2545
会 津 大 学 短 期 大 学 部 附 属 図 書 館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田 1 - 1	(0242)37-2458
福 島 県 立 医 科 大 学 附 属 学 術 情 報 セン タ ー	960-1297	福島市光が丘 1	(024)547-1687
(私 立 38 館)			
青 森 大 学 附 属 図 書 館	030-0943	青森市幸畑 2 - 3 - 1	(017)738-2001
東 北 女 子 大 学 附 属 図 書 館	036-8530	弘前市大字清原 1 - 1 - 16	(0172)33-2289
八 戸 学 院 大 学 ・ 八 戸 学 院 短 期 大 学 図 書 館	031-8588	八戸市美保野 13 - 98	(0178)30-1695
八 戸 工 業 大 学 図 書 館	031-8501	八戸市大字妙字大開 88 - 1	(0178)25-8032
弘 前 学 院 大 学 附 属 図 書 館	036-8577	弘前市稔町 13 - 1	(0172)34-5211
青 森 中 央 大 学 ・ 青 森 中 央 短 期 大 学 図 書 館 情 報 セン タ ー	030-0132	青森市横内字神田 12	(017)728-0131
岩 手 医 科 大 学 附 属 図 書 館	020-8505	盛岡市内丸 19 - 1	(019)651-5111
富 士 大 学 図 書 館	025-8501	花巻市下根子 450 - 3	(0198)22-4986
盛 岡 大 学 図 書 館	020-0694	岩手県滝沢市砂込 808	(019)688-5561
修 紅 短 期 大 学 図 書 館	021-0902	一関市萩荘字竹際 49 - 1	(0191)24-2211
岩 手 看 护 短 期 大 学 図 書 館	020-0751	岩手県滝沢市大釜千が窪 14-1	(019)687-3864
仙 台 大 学 附 属 図 書 館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南 2 - 2 - 18	(0224)55-1399
仙 台 白 百 合 女 子 大 学 図 書 館	981-3107	仙台市泉区本田町 6 - 1	(022)374-5090
石 卷 専 修 大 学 図 書 館	986-8580	石巻市南境新水戸 1	(0225)22-7718
東 北 学 院 大 学 中 央 図 書 館	980-8511	仙台市青葉区土樋 1 - 3 - 1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央 1 - 13 - 1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢 2 - 1 - 1	(022)375-1174
東 北 工 業 大 学 附 属 図 書 館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町 35 - 1	(022)305-3178
東 北 福 祉 大 学 図 書 館	981-8522	仙台市青葉区国見 1 - 8 - 1	(022)717-3319
東 北 文 化 学 園 大 学 総 合 情 報 セン タ ー 図 書 館	981-8551	仙台市青葉区国見 6 - 45 - 1	(022)233-3878
東 北 薬 科 大 学 附 属 図 書 館	981-8558	仙台市青葉区小松島 4 - 4 - 1	(022)727-0061
宮 城 学 院 女 子 大 学 図 書 館	981-8557	仙台市青葉区桜ヶ丘 9 - 1 - 1	(022)279-5658
尚 紗 学 院 大 学 図 書 館	981-1295	名取市ゆりが丘 4 - 10 - 1	(022)381-3440
聖 和 学 園 短 期 大 学 図 書 館	981-3213	仙台市泉区南中山 5 - 5 - 2	(022)376-8257
仙 台 青 葉 学 院 短 期 大 学 図 書 館	984-0022	仙台市若林区五橋 3 - 5 - 75	(022)369-8003
東 北 生 活 文 化 大 学 ・ 東 北 生 活 文 化 大 学 短 期 大 学 部 附 属 図 書 館	981-8585	仙台市泉区虹の丘 1 - 18 - 2	(022)272-7518
ノース アジア 大 学 附 属 図 書 館	010-8515	秋田市下北手桜守沢 46 - 1	(018)836-2406
東 北 芸 術 工 科 大 学 図 書 館	990-9530	山形市上桜田 3 - 4 - 5	(023)627-2044
羽 阳 学 園 短 期 大 学 附 属 図 書 館	994-0065	天童市大字清池 1559	(023)655-2385
東 北 文 教 大 学 ・ 東 北 文 教 大 学 短 期 大 学 部 附 属 図 書 館	990-2316	山形市片谷地 515	(023)688-7544
東 北 公 益 文 科 大 学 メ デ ィ ア セン タ ー	998-8580	酒田市飯森山 3 - 5 - 1	(0234)41-1177
い わ き 明 星 大 学 図 書 館	970-8551	いわき市中央台飯野 5 - 5 - 1	(0246)29-7121
奥 羽 大 学 図 書 館	963-8611	郡山市富田町字三角堂 31 - 1	(024)932-8931
郡 山 女 子 大 学 図 書 館	963-8503	郡山市開成 3 - 25 - 2	(024)932-4848
東 日 本 国 际 大 学 ・ い わ き 短 期 大 学 部 平 図 書 館	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢 37	(0246)35-0416
日本 大 学 工 学 部 図 書 館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原 1	(024)956-8642
桜 の 聖 母 短 期 大 学 図 書 館 情 報 セン タ ー	960-8585	福島市花園町 3 - 6	(024)534-7137
福 島 学 院 大 学 図 書 館 情 報 セン タ ー	960-0181	福島市宮代乳児池 1 - 1	(024)553-2087

第68回東北地区大学図書館協議会総会



東北大學 植木圖書館長



八戸工業大学 藤田学長



総会風景



弘前大学 長谷川図書館長



大学教育部会報告



国立大学部会風景



公立大学部会風景



私立大学部会風景

寄 稿

図書館就職に关心のある大学生等は何を知りたいのか －図書館就職セミナーのアンケートから－

小林 真理絵、佐藤 友則、中島 大、吉植 庄栄

1. はじめに

1.1. 本稿の目的

「みちのく図書館員連合（MichinokU Librarian Union:MULU）」¹⁾（以下 MULU とする。）では、主に東北地区の図書館関係者の有志が主体となって、図書館への就職を希望する者に対して平成 23(2011) 年度から就職セミナーを実施している。本稿は、参加者へのアンケートや声の分析を通して、図書館での就職を希望する者が、何を望み、何を知りたいのかという点について迫るものである。この報告が、今後の各図書館での運営と発展に役立つのであれば、幸いである²⁾。

1.2. 就職セミナーについて

図書館への就職情報や現場での仕事内容について知ることは困難だ。セミナーは、図書館で働くことを目指している者に「本が好き」「図書館が好き」というだけでは分からぬ図書館員の仕事の実態を伝えることを一つの大きな目的としている。一方、講師役の現役図書館員は、就職方法の概要やその経験、現在の仕事を説明することによって、現在の業務を再認識することはもちろん、プレゼンテーション等人に伝える技能の向上が期待でき、業務を継承する力をつける機会になると考える。講師役は図書館への就職希望者と出会うことで、自分たちが図書館で働いていることの意味を、あらためて実感できる機会となるかもしれない。もちろん、このセミナーの参加者に対し、図書館の現場で働くことを約束することは出来ない。しかし、その理由だけでこのようなセミナーの開催は意味がないという訳ではない。上記のような考えで、このセミナーを企画実施することにした。

1.3. 我々の問題意識

就職セミナーの背景になった我々の問題意識を最初に整理したい。第一に図書館への就職情報の入手手段の少なさである。

日本図書館協会が運営するウェブサイトに図書館求人情報の掲載³⁾もあるが、図書館就職情報のポータルサイトとして長らく貢献してきた『われわれの館』が 2013 年に閉鎖されたことで、図書館就職に関する情報は一覧的な収集が困難になっている。そして図書館の正職員募集は採用数自体が少ないため就職情報も必然的に少ない。前述の『われわれの館』の管理人は、その閉鎖にあたってのインタビューで「2012 年度は年間約 4,000 件の求人を掲載しましたが、そのうち正規職員は 60 件にも満たず非常に狭き門でした。」と述べている⁴⁾。そのため、図書館への正職員での就職希望者は、情報を探すところからの試練となる。そこで現職の我々が情報の探し方や情報自体を提供することはできないであろうか、と考えた。

次に問題と考えたのが、図書館への就職の複雑さである。つまり、どのような就職口が存在し、そしてどのような雇用形態があるのかを独力で理解することの困難さである。ここでは「図書館の就職先」と「雇用形態」の二つの面に分けて整理し次のような表にまとめた（表 1-1, 表 1-2）。

表 1-1 図書館の就職先

就職先	備考
国立大学附属図書館	正職員は国立大学法人職員
公立大学図書館	正職員は公立大学法人職員
私立大学図書館	正職員は大学法人職員
公共図書館	正職員は地方公務員
国立国会図書館	正職員は国家公務員
学校図書館	正職員は公務員（国公立）か法人職員（私立）
図書館委託業者	正職員は私企業の社員・職員
指定管理者	指定管理者事業体の社員・職員

表 1-2 雇用形態

雇用の種類
正職員
非常勤職員
派遣社員等
アルバイト

この表に基づいて見ると、一つの図書館で働く職員の多様性と複雑さが分かる。複雑さの顕著な例として、例えば業務委託業者に業務の大半を委託しているある私立大学の図書館を考えてみる。この場合、この図書館にはその大学法人が採用している正職員、非常勤職員等の他に、業務委託業者の正職員や非常勤職員等がいる。この大学の大学生が自分の母校の図書館に勤めることを志望した場合、彼には様々な採用の形態があることになる。しかし在学中にこの仕組みをカウンターの外から理解するのは、困難であることが多い。図書館就職希望者にとって、以上の様な「館種の別」と「雇用形態」を区別する概念があまり無いのではないか。それゆえ図書館就職希望者には雇用形態、館種、設置母体等の違いによる業務・就職に至るまでのプロセスの違い、そして就職後の待遇の違いを示す機会を作り、採用時のミスマッチを減らすようにしてはどうであろうか。

最後に現場の仕事の情報についてである。長谷川⁵⁾は2種類の業務分析票を用いて大学図書館業務を整理(表1-3参照 表は一部改編)し、「大学図書館における伝統的な業務構成は現在でも変わっていない」と述べている。表1-3での一次経営活動とは図書館の通常業務、二次経営活動とは管理業務をそれぞれ指している。

¹⁾ MULU は平成 21(2009) 年 7 月 7 日に発足した、東北地方の図書館員を中心とした“顔が見える”コミュニティである。メンバー数は約 200 名であり、主にメーリングリストによる情報交換と定期的な茶話会を開催している。大学図書館、公共図書館をはじめとした、多様な館種に属する者の集う場であり、このことが当企画を生み出す大きな要因となっている。

²⁾ 本稿は、次に挙げる報告では取り上げることができなかった第3回開催の報告や、紙幅の関係で割愛した参加者アンケート報告などをまとめた内容である。

吉植庄栄、佐藤友則、石橋典子、小林真理絵. 図書館の現場につなぐ：図書館就職のための MULU のセミナー. カレントアウェアネス -E. no.236, E1423. 2013.04.25. (オンライン), <http://current.ndl.go.jp/e1423>, (参照 2014-03-25).

³⁾ 日本国書館協会. 図書館関係求人情報.(オンライン), <http://www.jla.or.jp/tabid/334/Default.aspx>, (参照 2014-04-20).

⁴⁾ われわれの館：図書館司書就職支援の館：管理人インタビュー. カレントアウェアネス -E. no. 249, E1503.2013.11.21. (オンライン), <http://current.ndl.go.jp/e1503>, (参照 2014-03-04).

⁵⁾ 長谷川豊祐. 変化への適応：大学図書館における業務分析と業務管理手法. 情報の科学と技術. 2011, vol.61, no.8, p.311-316.

表 1-3 大学図書館の業務分析

	全国国立大学図書館長会議 1968年6月	日本図書館協会 研修問題特別委員会 2000年3月
二次 経営 活動	経営管理 人事管理 広報活動	経営管理 ・経営管理 ・自己点検・評価 ・人事管理 ・広報活動 ・緊急事態への対応
一次 経営 活動	資料の収集と選択 資料の受入と処分 資料の配置 資料の保存と保管	コレクションマネジメント ・資料の収集と処分 ・資料の配置 ・資料の保管と保存
	分類と目録 資料の装備	資料組織 ・主題分析と目録 ・資料の装備
	閲覧と貸出利用者への援助 参考業務	利用サービス ・サービスの総合調整 ・閲覧と貸出 ・利用者への援助 ・利用教育 ・レファレンスサービス ・相互協力業務
	文献情報管理	システムの活用と運用管理 ・システム活用方針の決定およびシステム、ネットワークの運用・管理 ・電子図書館業務

我々図書館職員の仕事がこれだけ複雑にして多岐にわたることについて、図書館への就職を目指す学生にとっては計り知れないものなのではないだろうか。とくに二次経営活動にあたる業務のイメージがあまり無いと考えられる。しかも全体で見たときに業務の概観に大きな変化がないと先述したが、細かく見れば機関リポジトリ、ラーニングコモンズ、情報リテラシー教育、学生協働、アクティブラーニングへの参画など、大学図書館の業務として新たに取り上げられた分野⁶⁾もある。一層就職希望者には未来の自分の働く姿がイメージしづらい状態にあると考える。

1.4. 就職セミナーの企画背景

次に以上の問題意識を就職セミナーの内容にどう反映させたかを紹介する。図書館への就職については、受験・採用情報、そして現場の情報が様々な意味で少ないことを述べた。それに対応する形で、図書館への就職について、様々な館種毎に情報を講話する機会を設けることを考えた。採用後に取り組む業務については、図書館業務のイメージを抱きにくいことを意識し、正確に魅力的に業務の全体像を伝えることを狙って、図書館に就職後の業務体験を講話することを考えた。図書館に関する多種多様な人々が集う MULU の強みを生かせば、大学図書館員をはじめ公共図書館員、大学教員、そして図書館委託業者職員など様々な協力者を確保し、多様な情報を提供することが可能であった。

その結果就職セミナーでは館種の違いごとに、それぞれの体験者が就職試験制度の紹介と準備経験の紹介、そして採用後の業務の内容の講話をを行うことにした。プログラムの先頭には概論の講話を置くことによって、全体を俯瞰できるようにした。また大学教員の協力者から、大学卒業後に図書館情報学の大学院に進む道もあることを気付かせてはどうか、という提案があり、経験者に担当してもらうようにした。講話終了後には、個別相談ができる「茶話会」を開催し、参加者の理解が更に深まるようにするとともに、図書館員と就職希望者の交流も促進できるようにした。

2. 就職セミナーの開催の報告

本章では具体的な開催報告を行う。

2.1. 「第1回「図書館就職セミナー@みちのく」=できれば、地元の図書館で働く！=」の概要

第1回は平成24(2012)年2月27日に仙台駅に至近である仙台市情報・産業プラザ ネットU⁷⁾で開催した。現役図書館員7機関12名の有志が運営と講師を担当し、大学生等25名が参加した。先述の考えに基づき、図書館就職概論から館種別に合計6名の現役図書館員が講話を行った。一人当たり約20分を目安に約2時間で講話を当てた。第1回のプログラムは、表2-1の通りである。

表2-1 第1回のプログラム

	タイトル (内容補足)	講話者の職場 位階	時間
1	図書館就職概論+私の職場体験	国立大学附属図書館 正職員(図書)	20分
2	国立大学附属図書館の就職+私の職場体験	国立大学附属図書館 正職員(図書)	20分
3	私立大学図書館の就職+私の職場体験	私立大学図書館 正職員(事務)	20分
4	公共図書館の就職+私の職場体験	市町村立図書館 正職員(図書)	20分
5	図書館情報学の大学院進学+私の職場体験	国立大学附属図書館 正職員(図書)	20分
6	図書館業務委託業者への就職	私立大学図書館 業務委託業者統括職員	20分
7	茶話会(個別相談会) (現役図書館員へ自由に個別質問)	運営スタッフ全員	30分



写真2-1 第1回における講話

⁶⁾これらの新しい機能は、次の資料に詳しくまとめられている。

文部科学省「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について(審議まとめ)【概要】」(オンライン), http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/houkoku/_icsFiles/afieldfile/2013/08/21/1338888_1.pdf (参照 2014-04-20) .

⁷⁾仙台市情報・産業プラザ ネットU.(オンライン), <http://www.siip.city.sendai.jp/netu/>, (参照 2014-03-28) .

事前の広報は、大学生の目につくように大学の掲示板などへポスター類を掲示してもらうよう依頼した。また司書課程の授業で教員に取り上げてもらうよう働きかけた。広報を開始したのが一か月前程度であったため、充分に時間をかけたとは言い難い。しかし、結果として社会人も含めた 25 名の参加者を得たことから、この企画にニーズがあるとの思いを強くした。

当回ではアンケートを実施するとともにエントリーシートにも記載をお願いした。これは民間の就職にて作成するものを真似て、大学での専攻や図書館員への志望動機、そして今後の就職情報や茶話会情報の希望の有無について尋ねたものである。運営側としてもどのような学生からニーズがあるのか、どのような内容が期待されているのかを把握しようと判断したことから作成した。以上 25 名の参加者を得たこと、講話と茶話会(個別相談会)のアンケート結果がほぼ好評であったこと、そしてその後の効果が確認できたことから、今後も継続する手ごたえを掴んだのである。

2.2. 「第 2 回 現役図書館員がお話しします！図書館で働きたい人のための図書館業界研究講座～就活から実際の仕事～」

第 2 回は平成 25(2013) 年 2 月 10 日に東北大学附属図書館ラーニングコモンズで実施した。大学図書館員、公共図書館員、指定管理業者、委託業者といった、現役図書館員ら 10 機関 21 名の有志が運営と講師を担当し、高校生、大学生、一般から 44 名が受講した。第 2 回も第 1 回同様、図書館就職概論から館種・職種別に 9 名が講話した。約 2 時間を講話にあて、全ての講話が終了後、30 分間を個別相談の時間とした。第 2 回のプログラムは、表 2-2 の通りである。

表 2-2 第 2 回のプログラム

	タイトル (内容補足)	講話者の職場 位階	時間
1	図書館就職概論 + 国立大学法人図書系試験 + 私の職場と仕事	国立大学附属図書館 正職員(図書)	20 分
2	臨時職員・嘱託職員・委託職員として働く	県立図書館 指定管理者職員	10 分
3	私立大学図書館への就職 + 私の職場と仕事	私立大学図書館 業務委託業者スタッフ	10 分
4	私立大学職員採用試験 (図書館に限定しない就職活動)	私立大学 学部 4 年生	10 分
	図書館体操		
5	業務委託業者として働く	業務委託業者 所長	10 分
6	公共図書館採用試験 + 私の職場と仕事	県立図書館 正職員(図書)	10 分
7	私立大学図書館への就職 + 私の職場と仕事 (司書資格を持たない者の就職活動)	私立大学図書館 業務委託業者スタッフ	10 分
8	私立大学図書館への就職 + 私の職場と仕事 (私立大学図書館の現状と就職の仕方)	私立大学図書館 正職員(事務)	10 分
9	図書館情報学を大学院で学ぶ + 私の職場と仕事	国立大学附属図書館 正職員(図書)	10 分
10	個別相談コーナー	運営スタッフ全員	30 分
	東北大学附属図書館見学会		

講話内容は、就職活動の経験（受験した試験、試験対策、試験内容等）や、現在行っている業務の話を中心とした。第2回からは、より多くの経験談を披露するため、一人当たりの持ち時間を減らし、講話者を増やした。講話者の内3名は第1回のセミナーを受講した者で、参加者により近い立場から講話を行った。



写真2-2 第2回における講話

講話終了後は講義形式から机椅子を移動し、国立大学図書館、私立大学図書館、公共図書館、業務委託、と館種ごとにグループを作り、少人数での相談に応じる時間を設けた。人数が多いため、1対1ではなく複数対複数で相談を受ける形をとった。



写真2-3 第2回における個別相談コーナー

第2回は広報面において大幅な改善を実施した。まずは名称を改めたことである。これは「『就職セミナー』の場合、学生に就職先を斡旋するものと誤解を受ける可能性がある。」「公的な就職説明会との差異化を図ってはどうか」等の指摘を受けたためである。そこで、「就職セミナー」を改め、「図書館業界研究講座」とした。さらに、第1回において大学生以外の参加者も複数いたため、対象を大学から一般へと広げ、地元紙「河北新報」に開催案内のイベント告知記事を掲載した。さらに第1回の需要を受け広報範囲を広げ、宮城県内のみならず東北地区の司書課程を持つ大学図書館へポスター掲示を依頼した。さらに、第1回はメールでのみ受け付けた参加申し込み方法を、第2回からは学生に馴染みのあるWebフォームに変更した。

名称の変更に伴い、第1回で提出させていた「エントリーシート」を廃止した。公的な就職説明会であるとの誤解をなくすためである。また、規模が大きくなつたことから、エントリーシートで得た個人情報をいかに管理するか、という問題も発生したこともある。エントリーシートを廃止した代わりに、Webフォームでの事前申込の際、記入必須事項として個人情報に当たるフェイス項目の他に「興味のある職種」を、自由記述と

して「当日聞きたいこと」を書いて頂いた。

さらに、東北大学附属図書館のラーニングコモンズがオープンした時期と重なり、ラーニングコモンズのフレキシブルワークエリア⁸⁾と一部のグループボックス⁹⁾を会場として借用した。机椅子が可動式であるため、講義形式の前半、対話形式の後半とも、それぞれ最適な形で行うことができた。

また、第1回で時間に対する苦情が出たことを受け、実施に当たっては講話者一人ひとりに講話時間の厳守を依頼している。「当日聞きたいこと」を講話者の講話内容に反映させたこと、講話者が講話時間を意識するようになったことが、それぞれの講話で要点をテンポよく話すことにつながったように思う。

2.3. 「第3回 現役図書館員がお話しします！図書館で働きたい人のための図書館業界研究講座～就活から実際の仕事～」

第3回は平成25(2013)年12月14日に仙台市戦災復興記念館¹⁰⁾で実施した。大学図書館員、公共図書館員、学校司書、委託業者といった現役図書館員ら8機関16名の有志が運営と講師を担当し、57名が参加した。第3回も第1回、第2回同様、図書館就職概論から館種・職種別に9名が講話を行った。約2時間を講話にあて、全ての講話を終了後、45分間を個別相談の時間とした。第3回のプログラムは、表2-3の通りである。

表2-3 第3回プログラム

	タイトル (内容補足)	講話者の職場 位階	時間
1	図書館就職概論	国立大学附属図書館 正職員(図書)	10分
2	第2回図書館業界研究講座に参加して (国会図書館・国立大学法人の受験、就職活動)	国立大学 学部4年生	10分
3	公共図書館への就職 + 私の職場と仕事	市町村図書館 正職員(図書)	10分
4	国立大学附属図書館への就職 + 私の職場と仕事	国立大学附属図書館 正職員(図書)	10分
5	国立国会図書館での仕事 + 私の職場と仕事 (国会図書館での業務、出向・異動制度)	国立大学附属図書館 正職員(図書)	10分
6	私立大学への就職 + 私の職場と仕事 (私立大学図書館の現状と就職の仕方)	私立大学図書館 正職員(事務)	10分
7	学校図書館への就職 + 私の職場と仕事	市立中学校図書室 嘱託職員	10分
8	業務委託業者(管理職)として働く + 派遣職員として働く + 私の職場と仕事	私立大学図書館 業務委託業者スタッフ	15分
9	図書館情報学を大学院で学ぶ + 私の職場と仕事 (図書館での仕事、求められる学問分野)	国立大学附属図書館 正職員(図書)	10分
10	個別相談コーナー	運営スタッフ全員	45分

⁸⁾ 話し合いながらグループで学習できる場で、椅子・机・ホワイトボードを自由に組み合わせて利用できる広いスペースのことである。詳しくは、東北大学附属図書館、ラーニング・コモンズ(アクティブラーニングスペース) : Learning Commons (active learning space). (オンライン), <http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/Library/l-commons.html>, (参照2014-03-28)による。

⁹⁾ ファミリーレストランにある様なグループボックス席(計5台配置)のことである。詳しくは、同上のウェブサイトを参照のこと。

¹⁰⁾ 仙台市戦災復興記念館。(オンライン), <http://www.stks.city.sendai.jp/hito/WebPages/sisetu/sensai/index.html>, (参照2014-03-28) .

講話の内容は前回を踏襲し、講話者が就職活動の経験（受験した試験、試験対策、試験内容等）や、現在行っている業務について自由に語る形式を取った。第2回の申込の際に半数から希望のあった学校図書館、3分の1から希望のあった国立国会図書館の講話者も探し、登壇して頂いた。第2回より受講体験者の講話を減らしたのは、時間が限られている中、同種の話の重複を極力無くすためである。第2回で入れていた指定管理者については日程の都合が合わず、第3回では見送りとなった。



写真 2-4 第3回における講話

第2回では、司書課程を持つ大学の図書館宛てにポスターの掲示を依頼したが、知人が居ないため依頼できない館があった。また依頼ができても図書館内での掲示に留まり、学生に情報が行き渡っていない恐れがあった。この反省を踏まえ、第3回では就職課への広報を追加し、東北地区の司書課程がある大学・短大の就職課と図書館、及び国立大学図書館宛てに広報を行った。さらに、司書課程担当の教員にコンタクトを取り、授業内での案内を依頼した。その結果、広報開始15日後には申込が定員の50名に達し、以降キャンセル待ちを受付することとなった。キャンセル待ちの者からは、どうしても参加させて欲しいという意見が多数寄せられた。最終的な事前申込者は66名、当日キャンセルが出たことから、当日は57名が参加した。



写真 2-5 第3回における講話にて 立ち見の参加者も出た

3. アンケートに見る全体の傾向

アンケートの有効回答者は第1回が22名、第2回が38名、第3回が50名の合計110名となっている。アンケートの全体は、MULU青年部のウェブサイト¹¹⁾に掲載している。本稿では紙幅の関係で過去3年分すべてを紹介することができないので、特筆すべき点をのみ紹介する。

¹¹⁾ MULU青年部.(オンライン), <http://mulus.wiki.fc2.com/>, (参照日 2014-04-20).

3.1. 参加者の傾向

参加者は第1回25名、第2回44名、第3回57名と徐々に増えている。参加者の学年を見てみると、やはり就職活動の中心となる3年生が最も多く約37%(40人)を占めている。第1回は2月の卒業間近の開催であったにもかかわらず4年生が最も多く全体の50%（11人）を占めていた。

1回目から非正規の図書館員の参加があり、2回目以降は大学院生、他業種の社会人などの参加も見られた。また、司書課程の無い大学からの参加が見られるようになったのも第2回からであり、回を重ねるごとに様々なバックグラウンドを有する参加者が出てきたと言える。

学年	回答者数
学部1年生	18
学部2年生	15
学部3年生	40
学部4年生	19
大学院生	7
図書館員	4
その他	7
無回答	0
合計	110

※学部1～2年生は短大生も含む。

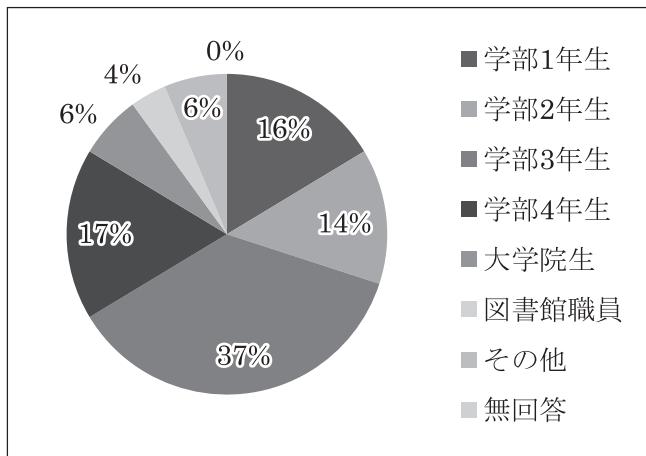


図3-1 参加者の学年

3.2. 参加動機

「なぜ参加しようと思いましたか(複数回答可)」の設問で3回の開催分を合計すると、「図書館に興味がある」と「図書館への就職を考えている」がそれぞれ82人(約75%)と最も多かった。「勧められた(誘われた)」という受動的な動機は僅かに9人(約8%)であり、参加者が自らの意思でセミナーに参加していることが伺える。

回答者数 110 (A)		
参加動機	回答者数 (B)	割合 (=B/A*100)
図書館に興味がある	82人	74.5%
図書館への就職を考えている	82人	74.5%
勧められた(誘われた)	9人	8.2%
セミナーの内容に興味がある	45人	40.9%
その他	1人	0.9%
無回答	1人	0.9%

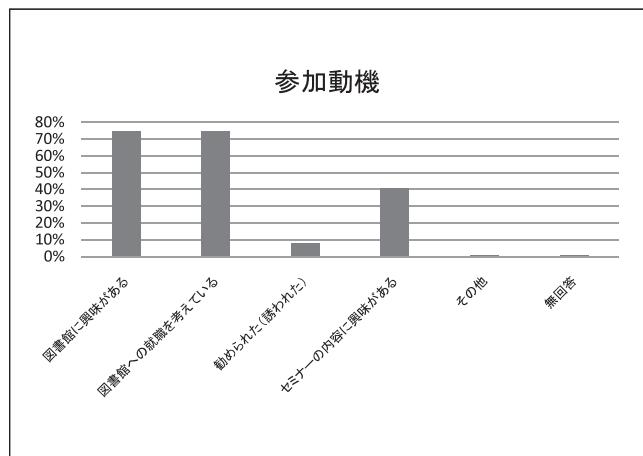


図3-2 参加動機(複数回答可)

3.3. 内容の満足度

第1回から個々の講話者の満足度を5段階で回答を得ている。最も評価の高いものは「非常に有益だった」「やや有益だった」の合計の割合が100%、最も評価の低い講演であっても「非常に有益だった」「やや有益だった」の合計の割合は77%となっている。講話者、講話内容ともに概ね好評を得ていると言える。一方で自由記述欄を見ると、少數ではあるが時間がオーバーして困った、当初期待していた内容が聞けなかつたなどの意見も見られる。

3.4. 興味のある図書館の種類

第2回から事前申し込みの際に「興味のある館種」「当日聞きたいこと」を質問している。就職先として興味を持っている館種を複数回答可の選択式で聞いたところ、図3-3に見られる結果となった。ほとんどの参加者が複数選択しており、多様な情報を求めていることが伺える。

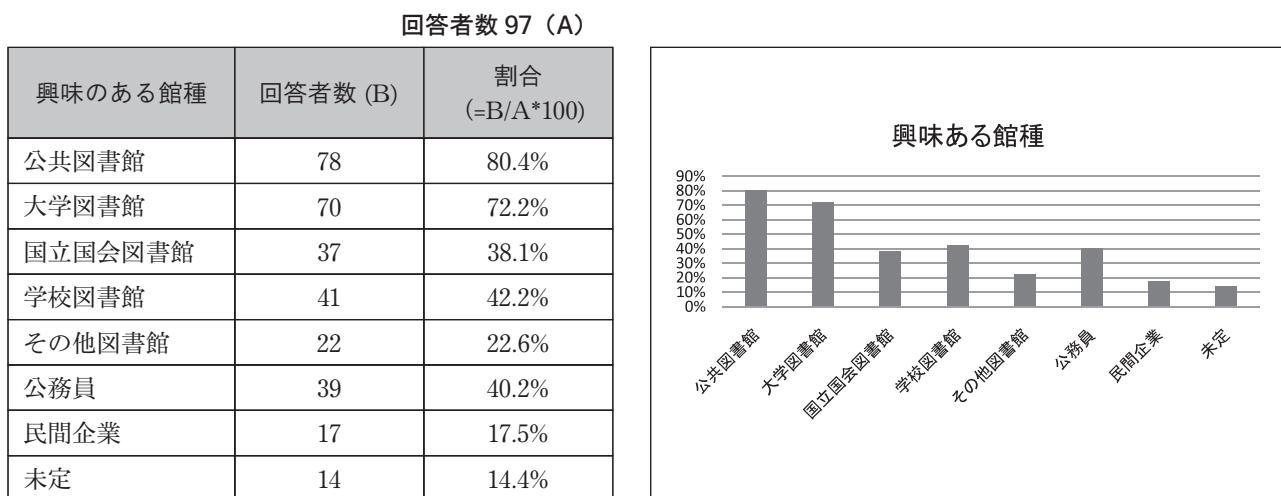


図3-3 興味のある館種（複数回答可・事前申込を行った97名から回答を得た。）

3.5. 当日聞きたいこと

同じく申し込み時に質問している「当日聞きたいこと」（自由記述）については、大まかに質問の種類をカテゴリー別にしたところ、図3-4の様になった。図書館への就職を目指す大学生等が集まるセミナーであるため、「就職活動に関するもの」が多いのは当たり前であるが、就職後の「勤務内容」や、「学生時代に何をしておくべきか」について興味を示す者が多くいた。また司書資格と就職の関係に興味を持つ者もいた。

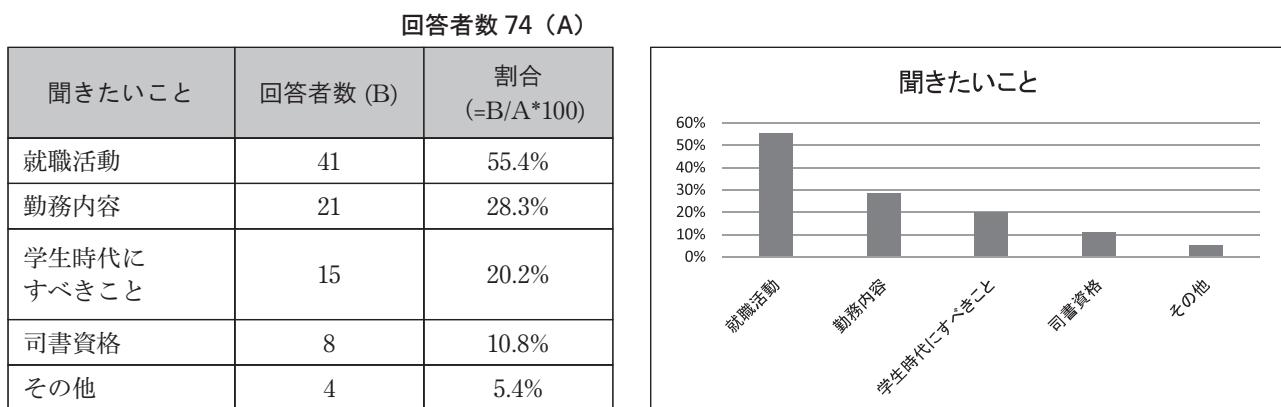


図3-4 聞きたいこと（複数回答可・事前申込の際に記述した74名から回答を得た。）

4. 結論

図書館就職セミナーのアンケートから図書館就職に興味を持つ大学生等には次の様な大まかな傾向があることが分かる。多くの学生が、図書館への就職を具体的に考え始める時期が大学3年次であること、また自発的にこのような会に参加し、自ら情報を得ようとしていること等である。

そして図書館就職に関心のある彼らの興味があることは、就職活動の具体的な情報を得ることはもちろん、就職後の勤務内容や、現時点で学ぶべきこと、得ておくべきスキルについて等である。これは図書館の現場で働くことについて、具体的な情報を欲していることの表れと言える。

また彼らは、館種に限らない様々な図書館の情報を得ようとしている。つまりこれは図書館への就職に対してまだ漠然としたイメージしか持ち得ないからに他ならない。彼らは大学図書館や公共図書館といった区別なく、図書館と名のつくもの全体に関心を持っている。そのどれもが就職のプロセスが違い、業務内容も異なる点についてはまだ理解していない状態であると思われる。

以上の背景から、様々な館種の図書館職員が自らの就職体験や現在の業務の講話をを行うことに対して、高い評価を得ることとなったと考えられる。過去3回のプログラムを、就職情報に限らず図書館業務を話すものにしたことは、成功だったと言えよう。

5. おわりに

図書館員は情報を提供するプロである。図書館の求人情報を求める人は数多く存在している。情報を提供し求めている人へ支援をすることは、図書館員の務めなのではないか。情報を探し活用することへの支援、これを自分たちの足元に向けるのである。図書館員のスキルを活かし、優秀な人材が業界により多く現れるように働きかけを行うこと、これは（まさに図書館を）次代へつなげる活動である。この企画に協力してくれる有志が増えること、そして各地でこのような活動が広まるることを願ってやまない。

話者の皆様、運営スタッフの皆様、広報にご尽力くださった皆様、運営にアドバイスくださった皆様、本稿の校正をしてくださった皆様、この企画に協力してくださいました全ての方に御礼申し上げます。

小 林 真理絵（こばやし まりえ 東北大学金属材料研究所図書室）

佐 藤 友 則（さとう ともなり 図書館業務委託業者勤務）

中 島 大（なかじま だい 東北大学附属図書館工学分館）

吉 植 庄 栄（よしうえ しょうえい 宮城教育大学附属図書館）

第68回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成25年9月27日(金)
会場 八戸工業大学 教養棟3階「大会議室」
八戸市大字妙字大開88番1号
TEL: 0178-25-8032(八戸工業大学図書館)

日 程

1. 受付 12:30 ~ 13:00

2. 開会式 13:00 ~ 13:10

(1) 開会の挨拶

常任幹事館 東北大学附属図書館

館長 植木 俊哉

6. 部会 14:40 ~ 15:10

国立大学部会 メディアセンター1階ホール

公立大学部会 メディアセンター2階 会議室

私立大学部会 教養棟3階 大会議室

(2) 歓迎の挨拶

当番大学 八戸工業大学

学長 藤田 成隆

7. 全体会議 15:30 ~ 16:20 教養棟3階 大会議室

① 各部会からの報告

② 質疑応答

3. 議長選出

4. 総会

(1) 報告事項 13:10 ~ 13:30

- ① 平成24年度会務報告について
- ② 平成24年度一般報告について
- ③ 平成24年度大学教育部会報告について
- ④ その他

8. 閉会式 16:20 ~ 16:30

(1) 次期当番館挨拶

(2) 閉会の挨拶 常任幹事館 東北大学附属図書館

(2) 協議事項 13:30 ~ 14:00

- ① 平成24年度決算報告(案)について
- ② 平成24年度記念事業基金決算報告(案)について
- ③ 平成24年度会計監査報告について
- ④ 平成25年度事業計画(案)について
- ⑤ 平成25年度予算(案)について
- ⑥ 平成25年度記念事業基金予算(案)について
- ⑦ 役員館の選任について
- ⑧ 第69回総会の当番地区(館)について
- ⑨ その他

(3) その他

- ・承認事項:「東日本大震災における図書館被災の記録作成の取組みについて」
(東北大学提案)

5. 大学教育部会報告 14:00 ~ 14:30

報告者: 東北学院大学中央図書館 佐藤 恵

(大学教育部会主査)

内 容: 平成24年度に大学教育部会が実施したアンケート調査の結果および「学生の主体的な学修」に関する部会の取組みについて報告する。

第68回総会資料

平成24年度 会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

東北大学を当番校として開催した第67回総会（平成24年9月）以降の会務について、以下の通り報告する。

1. 平成24年度国立大学図書館協会東北地区協会職員研修会（後援）

(1) 第1回

日 時： 平成25年2月1日（金）

場 所： 東北大学附属図書館本館（川内キャンパス）

参 加 者： 61名

内 容： 「本を選ぶ、並べる、魅せる。～魅力的な書棚の作り方を学ぶ～」

講 演： 「書店員の本の魅せ方、選び方」伊藤清彦
(一関市立大東図書館・館長)
「人と本の出くわす瞬間」幅允孝
(有限会社バッハ代表)

ワークショップ： 「実践・本棚プロデュース！」

(2) 第2回

日 時： 平成25年3月8日（金）

場 所： 東北大学附属図書館本館（川内キャンパス）

参 加 者： 24名

内 容： 「インドおよびシベリアへの海外出張報告」

講 演： 「IT大国インドにおける学術情報流通の最新事情」吉植庄栄（宮城教育大学附属図書館・学術情報管理係長）
「シベリアにおける大学図書館・国立図書館」米澤誠（東北大学附属図書館・総務課長）

2. 平成24年度東北大学附属図書館職員総合研修会（後援）

日 時： 平成25年2月28日（木）

場 所： 東北大学附属図書館本館（川内キャンパス）

参 加 者： 32名

内 容： 「アクティブ・ラーニングとこれからの大学図書館の役割」

講 演： 「アクティブ・ラーニングの理論と実践」
安永悟（久留米大学文学部・教授）
「これからの人材を育てる大学図書館のリデザイン」山田政博（九州大学基幹教育院・准教授）

3. 目録システム講習会の開催（後援）

(1) 目録システム講習会（図書コース）

日 時： 平成25年6月24日（月）～26日（水）

場 所： 東北大学附属図書館本館（川内キャンパス）

参 加 者： 16名

4. 協議会誌の刊行

協議会誌第64号を刊行し、平成25年7月に加盟館及び国立国会図書館等に配布した。

5. 平成24年度合同研修会の実施

日 時： 平成25年8月30日（金）

場 所： 福島大学共生システム理工学類後援募金記念棟

テ マ： 「図書館における学習支援」

参 加 者： 24名

基調講演： 「千葉大学アカデミック・リンクの事例を中心に、図書館の学習支援について」、
講師：國本千裕（千葉大学・特任助教）

グループワークショップ： 「図書館における学習支援に関するサービスの現状と展望について」

6. 平成24年度末（平成25年8月）の加盟館数

本協議会の加盟館数は、国立大学15館、公立大学12館、私立大学38館の、合計65館となっている。

平成24年度 一般報告

—国公私立大学図書館等の動向—

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○第72回国公私立大学図書館協力委員会

（平成24年7月27日 京都大学附属図書館）

報告事項

- ・委員長館会務報告（筑波大学）
- ・「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告
- ・「大学図書館研究」編集委員会報告
- ・大学図書館著作権検討委員会報告
- ・シンポジウム企画・運営委員会報告
- ・GIFプロジェクトチーム報告
- ・国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC）
2012年春季会合参加報告
- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）
報告

協議事項

- ・常任幹事館(公立大学)の1館増加等要望について
- ・J U S T I C Eへの支援について
- ・平成22年度監査報告の付帯意見の対応について
- ・S C O A P³について
- ・G I Fプロジェクトチーム運営細則について
- ・次期委員長館の選出について

○第73回国公私立大学図書館協力委員会

(平成24年11月16日 慶應義塾大学三田キャンパス)

報告事項

- ・委員長館会務報告（委員長館が、筑波大学から横浜市立大学に）
- ・「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告
- ・「大学図書館研究」編集委員会報告
- ・大学図書館著作権検討委員会報告
- ・シンポジウム企画・運営委員会報告
- ・G I Fプロジェクトチーム報告
- ・学位論文電子化の諸問題に関するワーキンググループ報告
- ・大学図書館コンソーシアム連合(J U S T I C E)報告
- ・S C O A P³報告
- ・外国雑誌センター報告

協議事項

- ・平成23年度決算（案）および監査報告について
- ・平成24年度予算（案）について
- ・監事館の選出について

○平成24年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

(平成24年11月16日 国立国会図書館)

議事

1. 大学図書館報告
 - ・基調報告
2. 国立国会図書館報告
 - ・基調報告
 - ・「デジタルアーカイブ構築に向けた国立国会図書館の取組」報告
3. 意見交換

○平成24年度大学図書館シンポジウム

日 時： 平成24年11月22日（木）

場 所： パシフィコ横浜

テーマ： 「質的転換を図る大学教育と図書館

～ラーニング・コモンズの先にあるもの～」

参加者： 225名

国 立 大 学 部 会 関 係

(幹事館：東北大学)

○平成24年度国立大学図書館協会秋季理事会

(平成24年11月13日 九州大学)

報告事項

- (1) 第59回総会等について
- (2) 各委員会等報告
- (3) 地区助成事業申請状況報告
- (4) 各地区協会報告
- (5) 国公私立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会関連報告
- (7) S C O A P³について
- (8) 大学図書館コンソーシアム連合(J U S T I C E)報告

協議事項

- (1) 今後の海外派遣事業等の実施について
- (2) I C O L C会議への職員派遣について
- (3) マネジメント・セミナーのあり方について
- (4) 協会の組織、期間、会則等の見直しについて
- (5) 60周年記念資料の作成について
- (6) 平成25年度マネジメント・セミナーについて

○平成24年度国立大学図書館協会東北地区事務連絡会議

(平成24年11月29日 東北大学)

報告事項

- (1) 平成24年度国立大学図書館協会秋季理事会について
- (2) 国立大学法人等採用試験（図書系）について
- (3) 職員の企画・運営による職員のためのワークショップ（第4期）について

協議事項

- (1) 平成25年度目録システム地域講習会等の実施について
- (2) 国立大学図書館協会総会及びマネジメントセミナーの今後の在り方について
- (3) S C O A P³への対応について
- (4) 東北地区の大学図書館間の業務連携の可能性について
- (5) 東北地区における人事交流について

承合事項

- (1) 司書資格、もしくは、目録業務経験の有る非正規雇用職員の採用について

○第45回国立七大学附属図書館事務部課長会議
(平成25年1月23日 京都大学)

協議事項

- (1) 教育学習支援について
- (2) 資料の保存について
- (3) 大学図書館の運営等について

承合事項

- (1) 早朝開館の実施状況について
- (2) ラーニング・コモンズにおける教育支援・学習支援の活用事例について

○第86次国立七大学附属図書館協議会
(平成25年1月23日 京都大学)

1. 文部科学省所管事項説明
2. 国立情報学研究所報告
3. 協議事項
 - (1) 教育学習支援について
 - (2) 資料の保存について
 - (3) 大学図書館の運営等について
4. 承合事項
 - (1) ラーニング・コモンズにおける教育支援・学習支援の活用事例について

○第44回国立大学区図書館協会東北地区協会総会
(平成25年4月26日 東北大学)

報告事項

- (1) 国立大学図書館協会理事会について
 - (2) 平成24年度目録システム地域講習会等について
- 協議事項
- (1) 国立大学図書館協会東北地区理事館・監事館・当番館等について
 - (2) 第60回国立大学協会総会に向けての準備事項等について

承合事項

- (1) 電子ジャーナル経費の財源等について

○平成25年度国立大学図書館協会新理事会
(平成25年5月13日 東京大学)

報告事項

- (1) 各委員会等報告
- (2) 各地区協会報告
- (3) 地区協会助成事業報告
- (4) 60周年記念資料について
- (5) 国公私立大学図書館協力委員会報告

- (6) S C O A P³報告
- (7) 大学図書館コンソーシアム連合（J U S T I C E）報告
- (8) 日本図書館協会報告

協議事項

- (1) 会長及び副会長選出
- (2) 理事館の担当について
- (3) 平成24年度決算（案）について
- (4) 平成25年度以降の地区協会助成事業の実施について
- (5) 平成25年度事業計画（案）について
- (6) 平成25年度予算（案）について
- (7) 「委員会の設置について（申し合わせ）」の改正について
- (8) 会則等の見直しについて
- (9) 総会等の日程の見直しについて
- (10) 関係団体への派遣役員について
- (11) 第60回国総会について
- (12) 第61回国総会の当番館・日程等について

○第60回国立大学図書館協会総会

(平成25年6月20日 名古屋大学)

1. 報告事項
 - (1) 一般経過報告
2. 協議事項
 - (1) 平成24年度決算報告・同監査報告について
 - (2) 平成24年度記念基金決算報告・同監査報告について
 - (3) 平成25年度事業計画（案）について
 - (4) 平成25年度予算（案）について
3. 文部科学省所管事項説明
4. 国立情報学研究所事業説明
5. 大学図書館コンソーシアム連合（J U S T I C E）事業説明
6. 国立大学図書館協会賞表彰式
 - ①お茶の水大学E-Book サービス事業：機関リポジトリを用いたE-Book 出版の取組み
 - ②大学図書館英会話集：名古屋大学中央図書館カウンターでの対応
6. ワークショップ
 - (1) 図書館機能高度化のための学内との連携・協働
 - (2) 学術情報のオープンアクセス化における大学図書館の役割

公立大学部会関係

(幹事館:福島県立医科大学)

○第23回(平成25年度)公立大学協会図書館協議会事務長会

期 日：平成25年6月6日（木）

会 場：高知会館

開催館：高知県立大学総合情報センター

承合事項

- (1) 導入教育と図書館における自発的学習の関わりについて
- (2) 無人開館時の図書館利用について
- (3) 図書館システムについて
- (4) 防犯カメラの設置状況について
- (5) 無線LAN の設置状況について
- (6) 電子ジャーナル・データベース等の利用実績把握について
- (7) 公共図書館との連携について

講演「国立情報学研究所の概要及び事業の御紹介」

国立情報学研究所 学術基盤推進部学術基盤課
阿蘿品 治夫氏

○第45回（平成25年度）公立大学協会図書館協議会総会

期 日：平成25年6月7日（金）

会 場：高知会館

開催館：高知県立大学総合情報センター

文部科学省行政説明

文部科学省 研究振興局情報課学術基盤整備室 室長
長澤 公洋氏

基調講演

「大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）－組織と活動の概要－」

国立情報学研究所 学術基盤推進部図書館連携・協力室
室長 熊渕 智行氏

議事

報告事項

- (1) 平成24年度事業報告
- (2) HP委員会報告
- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) 事務長会報告

協議事項

- (1) 役員の選出について
- (2) 関係委員会委員等の推薦について
- (3) 平成24年度決算報告及び監査報告
- (4) 平成25年度事業計画（案）について
- (5) 平成25年度予算（案）について

(6) 平成25 年度大学図書館職員長期研修（筑波大学主催）参加者の推薦について

(7) 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について

(8) 公立大学協会図書館協議会規程類の整理・見直し提案について

(9) 予算編成について

(10) 会費の値下げについて

(11) 「内規申合せ事項」の改正について

○平成25年度公立短期大学図書館協議会総会

期 日：平成25年8月1日（木）

会 場：倉敷市立短期大学 大会議室

開催館：倉敷市立短期大学付属図書館

議 事

(1) 報告事項

- ① 平成25年度役員紹介
- ② 平成24年度事業報告
- ③ 平成24年度決算報告及び監査報告
- ④ 平成24年度中部地区研究会活動報告
- ⑤ 平成25年度中部地区研究会活動報告

(2) 協議事項

- ① 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について
- ② 本協議会の今後の在り方について
- ③ 本協議会予算の有効活用策について
- ④ 地区研究会について
- ⑤ 平成26年度以降の輪番表について

(3) その他

- ① 承合事項
- ② 平成26年度役員紹介

○平成25年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期 日：平成25年8月2日（金）

会 場：倉敷市役所207 会議室

開催館：倉敷市立短期大学付属図書館

講 演

「大学図書館の利用者教育－アンケートを利用してもう一歩、前へ－」

広島文教女子大学教養教育部 准教授

庄 ゆかり氏

○平成25年度公立大学協会図書館協議会北海道東北地区館会議

期 日：平成25年9月6日（金）

会 場：札幌市立大学芸術の森キャンパス

開催館：札幌市立大学附属図書館

報告（確認）事項

- (1) 第45回（平成25年度）公立大学協会図書館協議会
総会要録

協議事項

- (1) 平成27・28年度の「北海道東北地区」の幹事館の
選出について

承合事項

- (1) 教員転出等に伴う図書館資料の移動について
(2) 研究室図書の蔵書点検について
(3) 著作権処理に関するフロー及び規程について
(4) 文献複写料金の設定について
(5) 図書予算の編成方針及び予算配分について

私立大学部会関係

（幹事館：東北薬科大学、東北文教大学・同短期大学部）

私立大学図書館協会・東地区部会を中心に

（平成24年8月1日～平成25年7月31日）

加盟校 533校（2012年8月30日現在）東地区部会269校

※東北地区加盟校（50音順） 25校

秋田看護福祉大学、石巻専修大学、いわき明星大学、
奥羽大学、郡山女子大学、尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北女子大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、東北薬科大学、日本大学工学部、日本赤十字秋田看護大学、ノースアジア大学、八戸工業大学、八戸大学・八戸短期大学、東日本国際大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

○第73回（2012年度）私立大学図書館協会 総会・研究大会

日 時：2012年8月30日（木）～8月31日（金）

場 所：慶應義塾大学（三田キャンパス）

メインテーマ：「個性化の戦略—創造する大学図書館」

総会

報告事項：

1. 会務報告（2011年度）
2. 委員会報告
3. 協会関連事項報告
4. 2012年度私立大学図書館協会役員校、委員会
および協会関連団体委員

協議事項：

1. 2011年度一般会計・特別会計決算報告（案）
2. 協会ホームページの充実（案）
3. 国際図書館協力委員会プログラム運営の効率化（案）

4. 私立大学図書館協会資料の保存と「会報」の
発送（案）
5. 2012年度事業計画（案）
6. 2012年度一般会計・特別会計予算（案）
7. 2013年度～2014年度役員校（案）
8. 新規加盟校および脱退校（案）

記念講演

「巨大量への片思い—図書館、アーカイヴ、百科
事典との交友録—」

慶應義塾大学 名誉教授 鶴見 洋一 氏

研究大会

1. 2011年度海外集合研修報告

2. 2011年度海外派遣研修報告

3. 研究助成発表

- 1) 2010年度研究助成発表

「大学図書館における大学アーカイブズ（学内
組織記録）の扱い：
大学図書館と文書館機能機関との補完関係に
についての調査研究報告」

東京基督教大学図書館 阿部 伊作 氏

- 2) 2011年度研究助成発表

「大学図書館員の現状認識に関する意識調査」

鶴見大学図書館 長谷川 豊祐 氏

4. 講 演

「国際教養大学の挑戦と図書館」

国際教養大学 理事長・学長 中嶋 嶺雄 氏

5. 事例報告

- 1) 「聖徳大学川並弘昭記念図書館と聖徳博物館の
ねらいについて」

聖徳大学川並弘昭記念図書館事務室長
林 政彦 氏

- 2) 「市民開放事業10年の歩み—大学図書館の立場
から—」

明海大学浦安キャンパスメディアセンター（図書館）
永田 美絵 氏

- 3) 「学生とともに創る大学図書館—ロゴ＆ミャラ
クター活用戦術を中心に—」

和光大学附属梅根記念図書館・情報館
森永 瑞穂 氏

○2012年度私立大学図書館協会東地区部会研究会（交流会）

日 時：2012年11月16日（金）

会 場：専修大学（生田キャンパス）

内 容：

1. 講 演

「大学図書館と共に拓く学術情報基盤の新たな地平～
国立情報学研究所のコンテンツ事業の新展開～」
国立情報学研究所 学術基盤推進部次長
尾城 孝一 氏

2. 研究分科会活動中間報告及び研修分科会の活動 報告

○2012年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会

日 時：2012年11月29日（木）～11月30日（金）

会 場：中京大学

テーマ：「震災に学び、震災に備える」

参加者：72大学77名

第1日

基調講演：「図書館の復興支援と大学の役割」
東海大学工学部建築学科教授
3.11生活復興支援プロジェクトアドバイザー
杉本 洋文 氏

講演：「そのとき私たちができたこと
一東北大学附属図書館が遭遇した東日本大震災」
一橋大学 学術・図書部 学術情報課長
(前・東北大学附属図書館 情報サービス課長)
小陳 左和子 氏

講演：「東日本大震災からの復旧過程で考えたこと、
感じたこと－東北学院大学図書館の経験を基に」
東北学院大学中央図書館 佐藤 恵 氏

第2日

ワークショップ
「大震災発生ーそのとき図書館は？」
saveMLAK 岡本 真 氏 他数名
(1) 勤務館が大震災に遭遇したと仮定したシミュレーション演習
(2) シミュレーション演習に基づく反省点の洗い出しと対策の検討
(3) BCP(事業継続計画)の作成プレインストーミング

○私立大学図書館協会2013年度東地区部会総会・館長会・

研究講演会

日 時：2013年6月14日（金）

会 場：國學院大学

1 部会総会 議事

(1) 報告事項
①2012年度 東地区部会会務報告及び研究活動報告
②2012年度 協会関係会務報告

③2012年度 協会関連報告

(2) 協議事項

①2012年度 東地区部会決算報告及び監査結果
②2012年度 東地区部会研究部決算報告及び監査結果
③2013年度 東地区部会事業計画(案)及び研究活動
計画(案)

④2013年度 東地区部会予算(案)及び研究部予算(案)

2 館長会

懇談テーマ：「学術雑誌の価格高騰問題と予算編成
について」

3 研究講演会

『大学図書館と共に拓く学術情報基盤の新たな地平
～国立情報学研究所のコンテンツ事業の新展開～』
国立情報学研究所 学術基盤推進部次長
尾城 孝一 氏

『学習支援の現在と図書館の新たな役割』

青山学院大学 教育人間科学部准教授
野末 俊比古 氏

平成24年度大学教育部会報告

（常任幹事館：東北大学附属図書館）

平成24年度の大学教育部会の活動について、以下の通り報告する。

1. 部会開催

(1) 第1回

日 時：平成24年10月31日（水）

場 所：東北学院大学中央図書館

議 題：1. 主査選出

2. 中教審『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（答申）』に関する意見交換

3. 本部会のタスク設定

4. 本部会のアクション・プラン

(2) 第2回

日 時：平成24年12月12日（水）

場 所：東北大学附属図書館

議 題：1. 「学生の主体的な学びを促す取り組みのニーズを探る」アンケートの内容検討

2. アンケート形式の検討

3. 2012年12月以降のスケジュール確認

(3) 第3回

日 時：平成25年4月18日（木）

場 所：東北大学附属図書館

議 題：1. アンケート集計方針について

2. 大学教育学会（2013年6月1日（土）～
2日（日））ラウンド
テーブルにおける報告について
3. 2013年4月以降のスケジュール確認

(4) 第4回

- 日 時：平成25年5月14日（火）
場 所：東北学院大学中央図書館
議 題：
 1. アンケート集計内容について
 2. 図書館対象アンケート（第二次調査）について
 3. 大学教育学会（2013年6月1日（土）～2日（日））ラウンドテーブルにおける報告について
 4. 今後のスケジュール

2. アンケートの実施

- (1) 東北地区における「学生の主体的な学修」の取組みに関する調査
期 間：平成25年2月6日（水）～28日（木）
回 答：54件37校
- (2) 各加盟館における学修支援の取組みに関する調査
(第一次調査)
期 間：平成25年2月12日（火）～28日（木）
回 答：42件
- (3) 各加盟館における学修支援の取組みに関する調査
(第二次調査)
期 間：平成25年7月5日（金）～31日（水）
回 答：47件

3. 成果発表

- (1) 文献発表
・「大学教育部会平成24年度アンケート調査の集計結果報告」、『東北地区大学図書館協議会誌』、第64号、平成25年4月、p. 31-39
- (2) 学会発表
・『『主体的な学び』を促すための方策：東北地区におけるアンケート調査報告から』、大学教育学会第35回大会、ラウンドテーブル4「ランニング・コモンズにおける学習の形」、平成25年6月1日（土）開催（会場：東北大学川内キャンパス）

[平成24年度決算書(案)]

自 平成24年9月1日
至 平成25年8月31日

項目	24年度予算額	24年度決算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	130,581	130,581	0	
会費	975,000	975,000	0	15,000円×65館
雑収入	140,120	120,127	△ 19,993	協賛広告協議会誌第64号(6社)郵貯等利子(127円)
計	1,245,701	1,225,708	△ 19,993	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	420,525	△ 29,475	会誌第64号
総会補助費	200,000	200,000	0	第67回(東北大学)100,000円 第68回(八戸工業大学、前渡し金)100,000円
事業費	200,000	72,760	△ 127,240	合同研修会(福島大学)52,760円 地域講習会(図書コース)補助20,000円
部会活動費	100,000	108,080	8,080	大学教育部会旅費(4回) 108,080円
事務費	40,000	40,000	0	東北大学(事務局)40,000円
通信運搬費	20,000	7,240	△ 12,760	会誌等送付料
積立繰入金	97,500	97,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	0	△ 20,000	
消耗品費	10,000	0	△ 10,000	
雑費	20,000	18,380	△ 1,620	会計監査交通費
予備費	88,201	0	△ 88,201	
次年度繰越	0	261,223	261,223	
計	1,245,701	1,225,708	△ 19,993	

[平成24年度記念事業基金決算書(案)]

自 平成24年9月1日
至 平成25年8月31日

項目	24年度予算額	24年度決算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	821,382	821,382	0	
積立金	97,500	97,500	0	記念事業実施のための積立
利息	166	188	22	普通預金利子(188円)
計	919,048	919,070	22	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	919,048	919,070	22	
計	919,048	919,070	22	

平成24年度監査報告

平成24年度東北地区大学図書館協議会監査報告

1. 日 時：平成25年9月12日（木）14：00～15：30
2. 場 所：東北大学附属図書館
3. 監査対象期間：平成24年9月1日～平成25年8月31日
4. 監査結果：

東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の監査対象期間に係る収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。

監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

平成25年9月12日

監査館

山形県立保健医療大学附属図書館

図書・整理主査

保利真澄



岩手医科大学附属図書館学事・総務課

図書係長

芳賀真理子



平成25年度事業計画（案）

（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

- 1 会誌第65号の刊行
平成26年5月頃の予定
- 2 第68回総会の開催
平成25年9月27日(金)八戸工業大学を当番館に実施
- 3 合同研修会の開催
開催当番 宮城地区の予定
- 4 職員の表彰
 - ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
 - ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者
- 5 大学教育部会を開催
- 6 フレッシュ・パーソンセミナーの開催
- 7 記念事業基金の積立て
平成25年度通常会計から記念事業基金(97,500円)
を繰り入れ予定

[平成25年度予算書(案)]

自 平成25年9月1日
至 平成26年8月31日

項目	24年度予算額	25年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	130,581	261,223	130,642	
会費	975,000	975,000	0	
雑収入	140,120	120,127	△ 19,993	
計	1,245,701	1,356,350	110,649	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	450,000	0	会誌第65号
総会補助費	200,000	100,000	△ 100,000	第69回(岩手地区大学、前渡し金)100,000円
事業費	200,000	200,000	0	合同研修会補助、表彰関係、地域講習会補助 (図書コース等)、フレッシュ・パーソン・セミナー
部会活動費	100,000	150,000	50,000	大学教育部会(会議開催、セミナー等開催)
事務費	40,000	40,000	0	東北大学(当番館・事務局)
通信運搬費	20,000	20,000	0	郵送料等
積立繰入金	97,500	97,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	20,000	0	幹事会等
消耗品費	10,000	10,000	0	会誌送付用封筒等
雑費	20,000	30,000	10,000	会計監査交通費等
予備費	88,201	238,850	150,649	
計	1,245,701	1,356,350	110,649	

[平成25年度記念事業基金予算書(案)]

自 平成25年9月1日
至 平成26年8月31日

項目	24年度予算額	25年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	821,382	919,070	97,688	
積立金	97,500	97,500	0	通常会計から繰入
利息	166	188	22	普通預金利子(188円)
計	919,048	1,016,758	97,710	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	919,048	1,016,758	97,710	
計	919,048	1,016,758	97,710	

協議題(総会)

平成25年度合同研修会について

(常任幹事館 東北大学)

(提案理由)

宮城地区が予定になっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会場大学 「テーマ」	備考
21	岩手	岩手県立大学 「学習支援の場としての大学図書館の役割」	
22	秋田	秋田大学 「図書館を守る」	
23	山形	山形大学 「学生、教職員そして社会が求める大学図書館職員像」	
24	福島	福島大学 「図書館における学習支援に関するサービスの現状と展望について」	
25	宮城		
26	青森		
27	岩手		

注：会場大学の決定については、当該開催地区において協議するものとする。

役員館の選任について

・常任幹事館の選任について

(幹事館及び監査館については、各部会で選任)

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

【提案理由】

常任幹事館の任期満了に伴うものである。

第69回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学)

(提案理由)

岩手地区が当番となっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館)予定

(平成21年9月17日承認)

回	年度	当番地区	会場大学	備考
64	21	宮城	仙台百合女子大学	
65	22	秋田	国際教養大学	
66	23	山形	山形大学	
67	24	宮城	東北大学	
68	25	青森	八戸工業大学	
69	26	岩手		
70	27	宮城		
71	28	福島		
72	29	秋田		
73	30	宮城		
74	31	山形		

注1：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

注2：開催地区のローテーションの確認について

①宮城地区は、他地区より大学の数が多いので3年に1回割り振る。

②その他の地区は、次のローテーションによる。青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

第68回東北地区図書館協議会総会提出議題

図書館名 東北大学附属図書館(本館)

承合事項(総会)

案件	東日本大震災における図書館被災の記録作成の取組みについて
提 理 由	<p>現在、国立国会図書館と大学図書館*では、東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループを設置し、東日本大震災における大学図書館の被災・復旧経験を全国の大学図書館等で広く共有し、後世に伝えるため、関係する記録の保存を進めるとともに、その利活用を促進する方策を検討している。</p> <p>* 筑波大学、東北大学、宮城大学、東北学院大学がメンバー</p> <p>ワーキング・グループでは、この取組みの意義付けを次のような観点から整理して、活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①図書館の資料、施設の被災と復旧の経験は、他の館種を含めて、図書館界の共有の財産となること ②大学の施設・組織として、その被災が研究・教育組織の中でどのような影響を与える、復旧についてどのような位置づけであったかの記録は、今後の大学図書館のあり方について考えていく材料となり得ること ③資料、記録を収集・保存・提供する組織であり、そのような組織が、自らに関する記録をいかに残していくのか、一つのモデルケースを提示しうること <p>平成25年9月末には、ワーキング・グループの活動内容や各大学における取組みに関する中間まとめを作成し、同様の取組みへの参画を呼びかける予定である。</p> <p>本協議会でも、各大学および大学図書館における記録作成の取組みについて、報告いただけた事例があれば、情報交換を行いたい(事項内容の記述は、簡潔で結構です)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学としての取組み(予定を含む)(例) <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災に関する記録冊子を作成中。平成26年3月に刊行予定。 2. 大学図書館としての取組み(予定を含む)(例) <ul style="list-style-type: none"> ・図書館サイトに、図書館関係の被災写真集を掲載予定。 ・現在、そのための写真を収集・整理中。

第68回総会 大学教育部会活動報告資料

アンケート調査結果および「学生の主体的な学修」に関する部会の取組みについて

1

東北地区大学図書館協議会
大学教育部会活動報告

アンケート調査結果および「学生の主体的な学修」に関する部会の取組みについて

平成25年9月27日（金）
第68回東北地区大学図書館協議会総会
大学教育部会（第1期：平成24年10月19日-平成25年8月31日）
寺崎 宏美（山形大学医学部図書館）
柳原 幸子（東北大附属図書館医学分館）
秋葉さおり（福島県立医科大学附属学術情報センター）
上條 尚樹（盛岡大学図書館）
八巻 千穂（東北福祉大学図書館）
佐藤 恵（東北学院大学中央図書館）

4

2. 大学教育部会の背景（図書館をめぐる状況）

■ 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（答申）～生涯学び
続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」（平成24年8月 文部科学省中央教育審議会）
学士力を育むための学士課程教育の質的転換
学士力：「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「創造的思考力」

■ 「教育振興基本計画」（平成25年6月閣議決定）
学生の主体的な学習のベースとなる図書館の機能強化

■ 「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）」
(平成25年8月 文部科学省科学技術・学術審議会)
1) アクティブラーニングのための空間の確保
2) 関連組織との連携
3) コンテンツ・学習空間・人的支援

4

2

1. 大学教育部会について

設置目的

①大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討する
②東北地区大学図書館協議会としての事業化の企画立案を行う
③加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取組みを強化する

2

5

3. 今期の活動

アンケート調査

＜部会内の議論＞
大学教育が「学生の主体的学び」を実現し、学士力・汎用的能力の育成を目指すため、従来の図書館完結型学修支援で対応できるか…？

アクティブラーニングなど様々な授業形態・学修形態に対応する支援・カリキュラムと直結した図書資料整備など、他部署や教員との連携による全学的取組が必要？

他部署・教員との連携を目指すためには、学修支援について図書館と他部署が共通理解を持っているか図書館に対する他部署のニーズを知ることは重要である

5

3

1. 大学教育部会について

活動内容

①教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
②大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
③教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

部会員：6名（第1期：平成24年10月19日-平成25年8月31日）

国立大学：寺崎 宏美（山形大学医学部図書館）
柳原 幸子（東北大附属図書館医学分館）
公立大学：秋葉さおり（福島県立医科大学附属学術情報センター）
私立大学：上條 尚樹（盛岡大学図書館）
八巻 千穂（東北福祉大学図書館）
佐藤 恵（東北学院大学中央図書館）※主査

3

6

3. 今期の活動

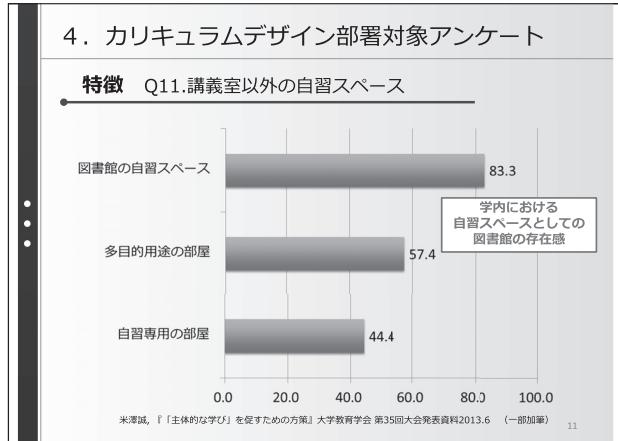
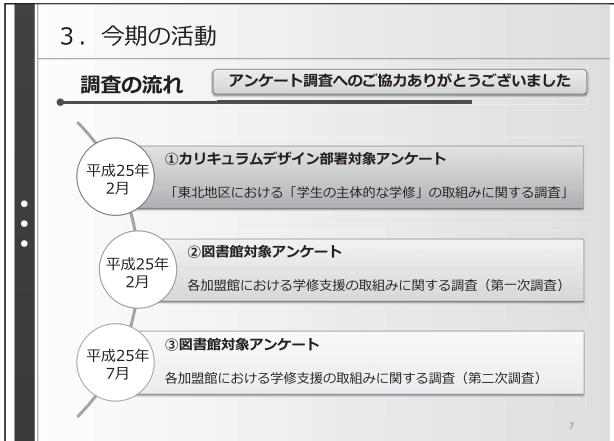
アンケート調査

＜仮説＞
・ラーニング・コモンズ等、図書館が他部署・教員と協働して学修支援を行なうケースは徐々に出来始めているものの、実現に至っていない図書館はまだ多いのではないか。
・学生の主体的学びの実現、特にアクティブラーニングの場として図書館が多彩な機能を持っていることについて、他部署・教員に認知されていっていないのではないか。

▷ 仮説の検証
▷ 図書館内外の知見とニーズの収集
▷ 現状把握

協議会加盟校の下記の部門を対象とし、図書館内外の情報を調査
1) カリキュラムデザイン部署
2) 図書館

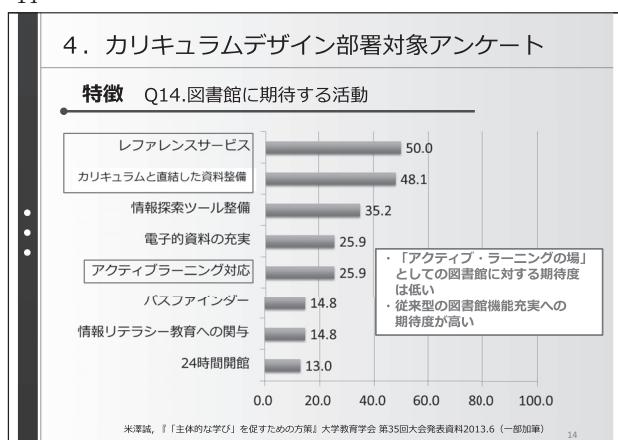
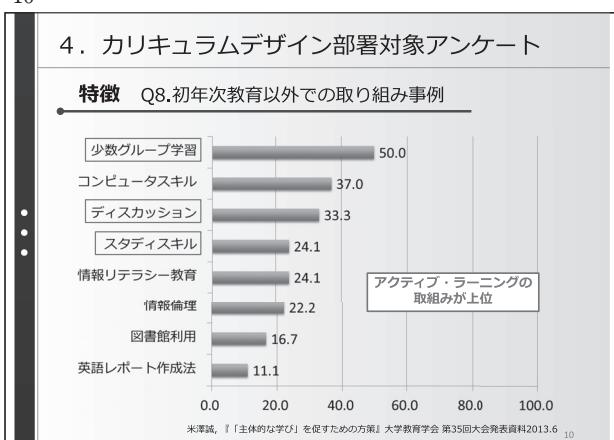
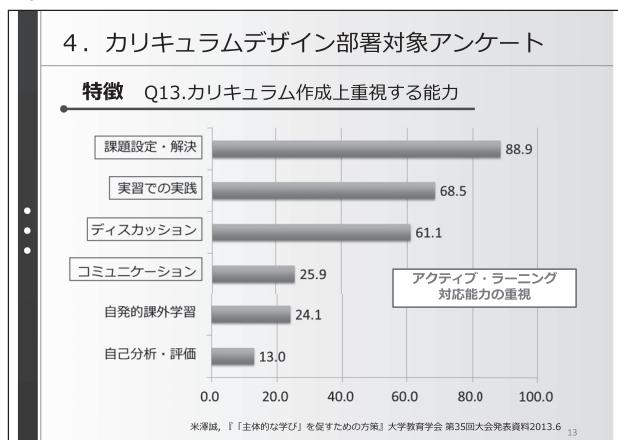
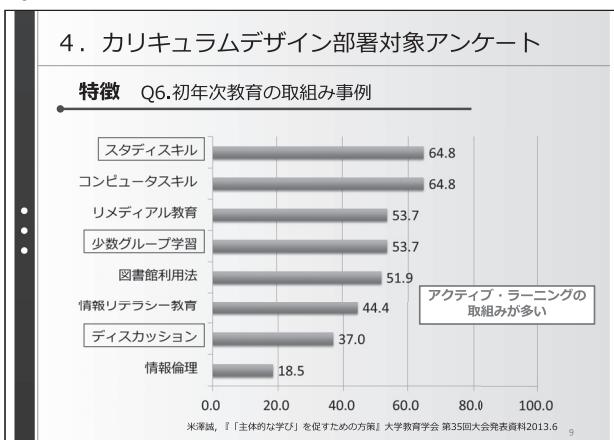
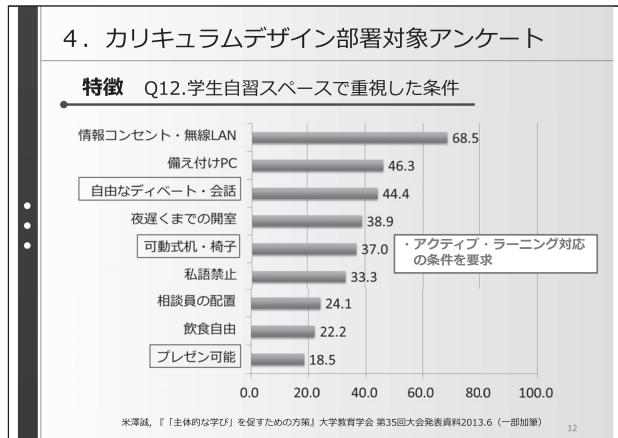
6



4. カリキュラムデザイン部署対象アンケート

アンケート概要

- 調査名称：「学生の主体的な学修」の取組みに関する調査
- 調査目的：1) 「学生の主体的な学び」の実現を目標として、図書館に限定しない大学全体での取組みを検討し、成果を加盟校に還元する
2) 「新たな学修支援」となるトピックについてカリキュラムデザイン部局の取組みの現状や知見、ニーズの調査を行な
- 調査対象：東北地区大学図書館協議会加盟校（64校）のカリキュラム担当部署
(国立：7 / 公立：9 / 私立：30 / 公立短大：3 / 私立短大：15)
- 調査期間：平成25年2月6日（水）～平成25年2月28日（木）
- 調査方法：ウェブ回答方式アンケート
- 回答件数：54件37校（回収率：57.8%）



4. カリキュラムデザイン部署対象アンケート

まとめ

- 全ての年次の学部生に対する共通の取り組みで重視する教育 (Q6,Q8)
 - ⇒協働学習を利用した問題解決を目指す
 - ⇒ディベート・ディスカッション中心
- カリキュラムデザイン上、伸ばしたい学生の能力 (Q13)
 - ⇒課題設定・解決・探求能力
 - ⇒フィールドワークや実習による実践的能力
 - ⇒自分の意見を伝え、相手の意見を聞く能力
 - ⇒しかし…
- 他部署が図書館に対して持っている認識 (Q11,Q14)
 - ⇒自習スペース（従来型図書館のイメージ）
 - ⇒アクティブラーニングの場、学生の主体的学びを充実させる場
 - ⇒学生や教職員交流の場としての認識、期待度は低い
- カリキュラムデザイン上で重視される授業手法や能力の向上を実現できる場としての図書館のアピールが必要

5. 図書館対象アンケート（第一次調査）

アンケート概要

- 調査名称：各加盟館における学修支援の取組みに関する調査（第一次調査）
- 調査目的：「学生の主体的な学び」の実現を目標として、大学図書館に限定しない大学全体での取組みを検討し、成果を加盟校に還元する
- 調査対象：東北地区大学図書館協議会加盟館（65館）
(国立：15館 / 公立：12館 / 私立：38館)
- 調査期間：平成25年2月12日（火）～平成25年2月28日（木）
- 調査方法：ウェブ回答方式アンケート
- 回答件数：42件（回収率：64.6%）

※平成25年2月28日現在（二次調査時に追加回答があったものを除く）

5. 図書館対象アンケート（第一次調査）

特徴 Q2.図書館で実施している学修支援

学修支援プログラム	アクティブラーニングへの対応はない (%)	図書館資源の利用・情報検索が中心 (%)
オリエンテーション	78.6	21.4
情報検索講座	64.3	35.7
図書館利用法講座	57.1	42.9
初年次教育授業	35.7	64.3
年次ガイダンス	26.2	73.8
TAによる情報探索支援	11.9	88.1
TAによるライティング支援	11.9	88.1

米澤誠, 「『主体的な学び』を促すための方策」大学教育学会 第35回大会発表資料2013.6 (一部加筆) 17

5. 図書館対象アンケート（第一次調査）

特徴 Q8.アクティブラーニングを取り入れた授業の支援

支援状況	割合 (%)
支援していない	81.0%
図書館で支援している	19.0%

米澤誠, 「『主体的な学び』を促すための方策」大学教育学会 第35回大会発表資料2013.6 (一部加筆) 18

5. 図書館対象アンケート（第一次調査）

特徴 Q9.アクティブラーニングスペースの設置

設置状況	割合 (%)
設置済み	38.1
検討中	35.7
予定なし	26.2

米澤誠, 「『主体的な学び』を促すための方策」大学教育学会 第35回大会発表資料2013.6 (一部加筆) 19

5. 図書館対象アンケート（第一次調査）

特徴 Q10.図書館として重視する能力

重視する能力	割合 (%)
課題設定・解決	95.2
自発的課外学習	78.6
ディスカッション	71.4
実習での実践	28.6
自己分析・評価	14.3
コミュニケーション	11.9

米澤誠, 「『主体的な学び』を促すための方策」大学教育学会 第35回大会発表資料2013.6 20

5. 図書館対象アンケート（第二次調査）

アンケート概要

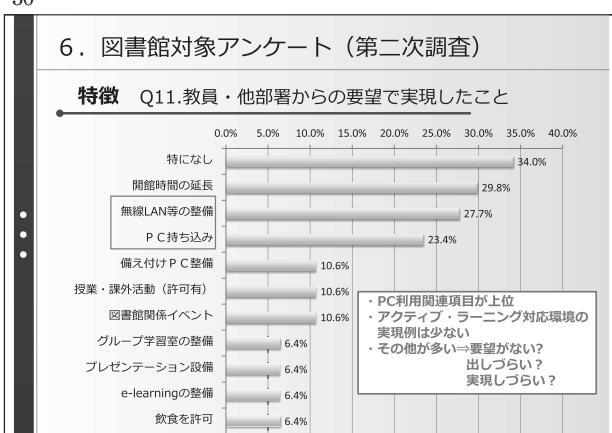
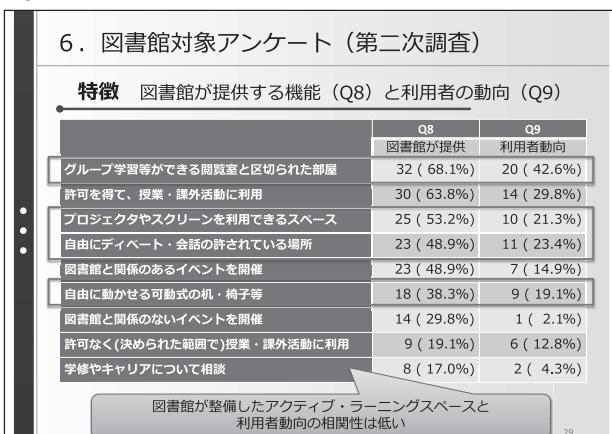
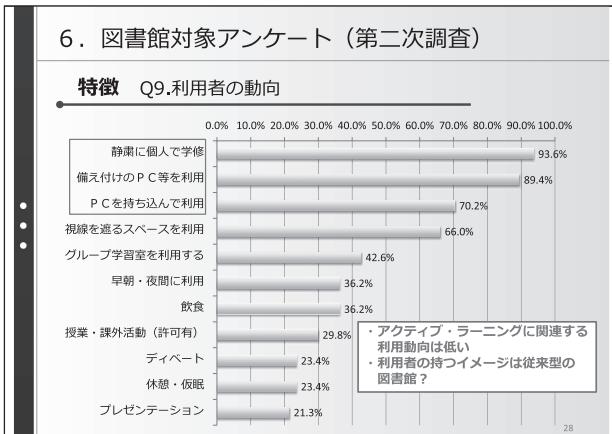
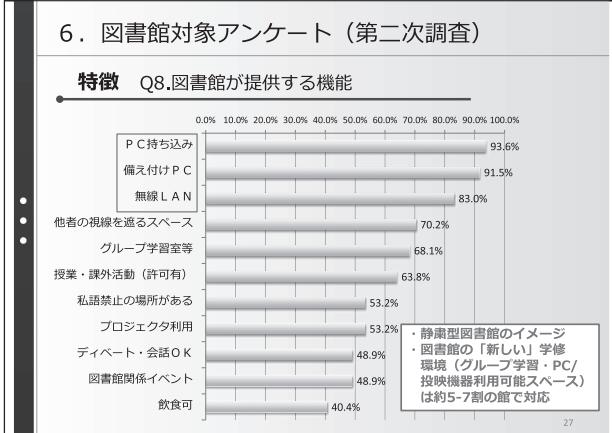
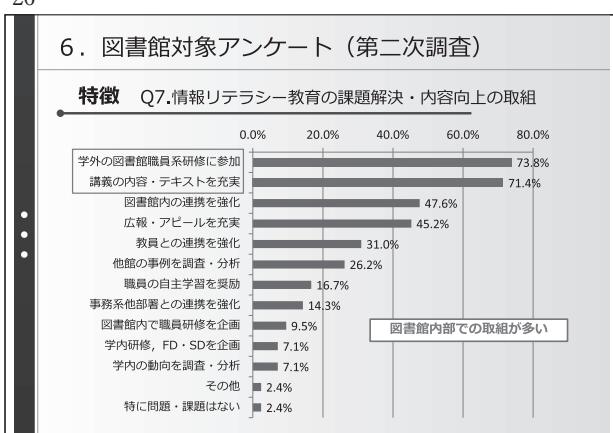
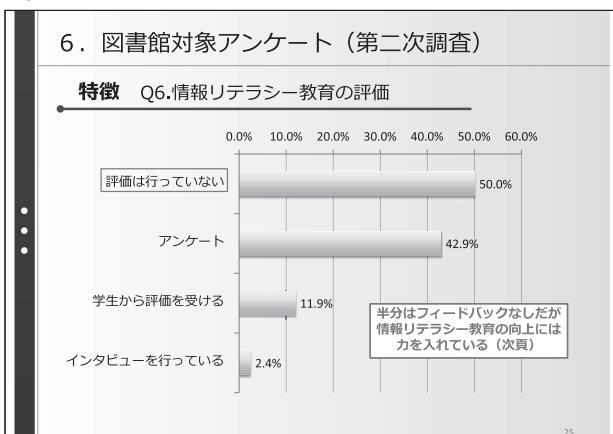
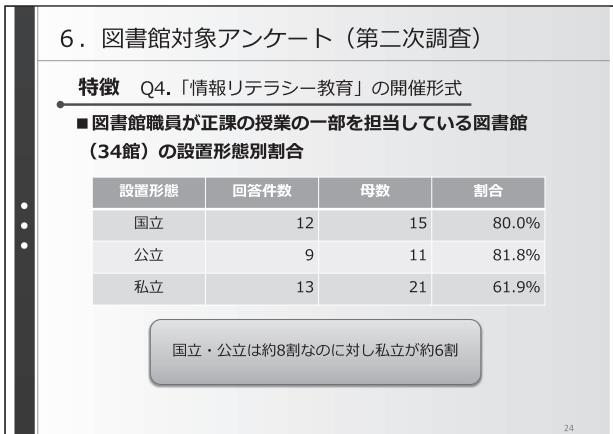
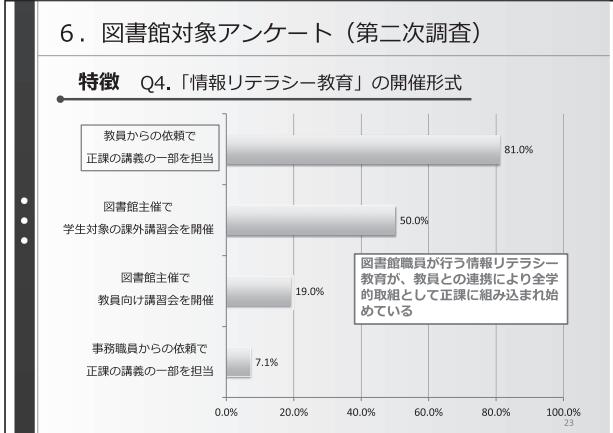
- 調査名称：各加盟館における学修支援の取組みに関する調査（第二次調査）
- 調査目的：第一次調査に同じ
※第一次調査：基礎的調査
※第二次調査：学修支援・他部署連携等事例調査
- 調査対象：東北地区大学図書館協議会加盟館（65館）
(国立：15館 / 公立：12館 / 私立：38館)
- 調査期間：平成25年7月5日（金）～平成25年7月31日（水）
- 調査方法：ウェブ回答方式アンケート
- 回答件数：47件（回収率：72.3%）

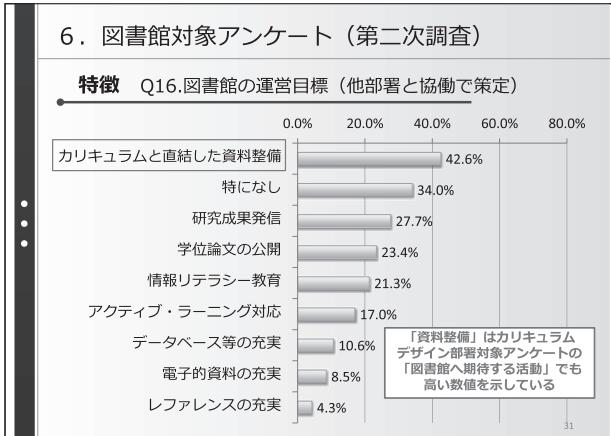
6. 図書館対象アンケート（第二次調査）

特徴 Q3.図書館で行っている「情報リテラシー教育」

情報リテラシー教育プログラム	割合 (%)
蔵書検索等	85.1%
情報検索の仕方	78.7%
情報倫理	17.0%
スタディ・スキル	17.0%
コンピュータ・リテラシー	12.8%
実施なし	10.6%
協同学習の仕方	6.4%
リメイクアブル教育	2.1%
英語レポート	2.1%
ディベート・ディスカッション	2.1%
その他	2.1%

「図書館で実施している学修支援」と同様、アクティブラーニング的要素よりは図書館資源・情報検索についての教育が多い
・少數であるが「協同学習の仕方」についてレクチャーしている館も存在





6. 図書館対象アンケート（第二次調査）

まとめ

■情報リテラシー教育 (Q3-Q7)
⇒図書館資源の活用・情報/文献検索系の内容が多い ⇒協働学習等、学生のアクティブラーニングを促進する取組は少ない ⇒受講者からのフィードバックを得る機会は少ない ⇒図書館職員は情報リテラシー教育の内容のプラスチックアップに積極的
■図書館機能 (Q8-Q11)
⇒従来型図書館機能（静態型）は充実 ⇒他部署から見た「自習スペースとしての図書館」は、実際の状況もほぼ同様 ⇒閲覧席は個人で利用、複数人での利用はグループ学習スペースへ ⇒アクティブラーニングに対応する機能は、整備状況・利用動向・他部署の期待共に低い（アクティブラーニングが学内に浸透していない？）
■図書館機能 (Q12-Q17)
⇒「資料整備」については、図書館運営・他部署の期待共に高い

32

7. カリキュラムデザイン部署・図書館アンケート結果の比較

学生の能力の育成について重視する点

カリキュラムデザイン部署対象 (Q13)	図書館対象（第一次調査Q10）
1位 学生が自ら課題を設定し、解決・探求していく能力	学生自ら課題を設定し、解決・探求していく能力
2位 フィールドワーク、実習などを通じて培う、実践的な能力	宿題やレポートなどの課題を含む授業時間外学修を自発的・持続的に実行する態度
3位 ディベート、ディスカッションなど自分の意見を伝え、相手の意見を聞く能力	ディベート、ディスカッションなど、自分の意見を伝え、相手の意見を聞く能力

他部署と図書館の認識はほぼ同じ
図書館は学土力（汎用的能力）のほか、正課外での自学自習も重視

33

7. カリキュラムデザイン部署・図書館アンケート結果の比較

図書館内外で実施している教育

カリキュラムデザイン部署対象	図書館対象（第二次調査）
初年次教育 (Q6)	初年次教育以外の授業 (Q8)
1位 ノートの取り方・レポートの書き方・プレゼンの仕方などのスタイル	少人数グループで問題解決を目指す協同学習を利用した教育
2位 PC・インターネット等、電子機器の使い方について学ぶコンピューターリテラシー教育	PC・インターネット等、電子機器の使い方について学ぶコンピューターリテラシー教育
3位 大学教育を受けるための基礎学力を補うリメディアル教育	学修に必要な情報の取り扱い方を学ぶ、著作権等の情報倫理教育
少人数グループで問題解決を目指す協同学習を利用した教育	ディベート、ディスカッションなど他の意見交換の仕方に付けての教育

他部署はアクティブラーニングの要素が、図書館は図書館資源の利用教育が中心。
情報リテラシー教育のプログラムにアクティブラーニングの要素を付加できる？

34

8. 課題

アクティブラーニング

- アクティブラーニングへの理解不足
- アクティブラーニングの推進・奨励不足

⇒「主体的学び」が生まれる学習活動はどんなもの？
適した場所は？支援は？
⇒それを自学の構成員（教員・学生・図書館職員・他部署職員）が十分理解しているか？

教員・他部署連携・学生利用

- 図書館外のニーズの把握不足
- 従来型+新しいサービス=「図書館の実力」の外部発信不足

⇒他部署・教員が求めているのは、従来型の図書館機能の充実
⇒アクティブラーニングが図書館で実現できること自体、教員・学生・他部署職員に認知・期待されていない可能性が…
⇒外部とのハブとなる図書館職員の必要性

35

8. 課題

情報リテラシー教育

- 初年次教育や授業への積極的な関与

⇒学生に獲得してほしい能力については、図書館内外ともにはほぼ同じ認識であるにも関わらず、連携が進んでいない現状

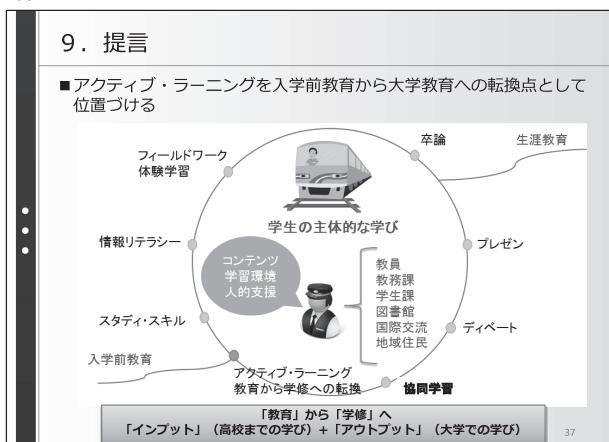
- 図書館で行う情報リテラシー教育がアクティブラーニングにフィットしていない

⇒自学自習のための図書館資源の利用方法が中心

- 場所の整備だけではなく、人的支援の充実も重要

⇒アクティブラーニングの手法を理解した図書館職員・サポートスタッフによる人的支援の充実の必要性

36



9. 提言

図書館→図書館外（学生・教員・他部署）への発信
～協働型の新しい学修支援へ向け～

■アクティブラーニングの推進

⇒他部署・教員・図書館が連携し大学全体で「学生の主体的学び」を実現するため…
⇒図書館職員がアクティブラーニングを正しく理解したうえで、図書館で実現可能なアクティブラーニングの例を広報するなど、全学的に認識を共有する

■他部署・教員のニーズの把握と図書館機能の積極的な広報

⇒図書館外ニーズの把握
加盟館の傾向を掴む材料として
当部会アンケート調査結果をぜひご活用ください！

⇒「図書館ができること」を知ってもらうことで、図書館職員による正課の講義・初年次教育、その他学生の汎用的能力の育成等、多角的な学習支援への関与の促進が期待できる

38

9. 提言

図書館内部における学修支援の質的向上へ

■情報リテラシー教育のプログラムの工夫

- ⇒図書館資源の利用方法のほか、「体験型プログラム」「コミュニケーションプログラム」の手法を用い、汎用的能力を習得するプログラムの開発など、工夫の余地はあると思われる
- ⇒図書館職員は情報リテラシー教育の質的向上について積極的に取り組むものの、プログラムに対する評価のフィードバックは十分とは言えない
- ⇒図書館が実施するプログラムについて学生・教職員からの多面的な評価を受けることで、より効果的な情報リテラシー教育を提供することができるのではないか

39

10. 今後の展開

- ①教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- ②大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- ③教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。



- アンケートの詳細分析および報告書の発行
- 事業化および展開

40

ご清聴ありがとうございました

• • •

第68回総会議事メモ

1. 期日：平成25年9月27日（金）13:00～16:20
2. 会場：八戸工業大学教養棟3階大会議室（青森県八戸市大字妙字大開88-1）
3. 出席者：加盟38館から62名

○議事

1. 開会式

常任幹事館の東北大学附属図書館の植木館長から、開会の挨拶があった。
当番館の八戸工業大学の藤田学長から、歓迎の挨拶があった。

2. 議長の選出

当番館の八戸工業大学図書館の鈴木館長より、総会当番地区の加盟館の館長1名を議長として選出することが提案され、承認された。

総会当番地区の弘前大学附属図書館の長谷川館長を、議長に選出した。

3. 総会

(1) 報告事項

- ① 平成24年度会務報告について
事務局から、総会資料5～6ページに基づき報告があった。
- ② 平成24年度一般報告について
事務局及び各大学部会幹事館から、総会資料7～20ページに基づき報告があった。
- ③ 平成24年度大学教育部会報告について
事務局から、総会資料21～22ページに基づき報告があった。

(2) 協議事項

- ① 平成24年度決算報告(案)について
- ② 平成24年度記念事業基金決算報告(案)について
事務局から、総会資料23及び25ページに基づき一括して報告があり、原案通り承認された。
- ③ 平成24年度会計監査報告について
岩手医科大学から、総会資料27ページに基づき9月12日（木）に山形県立保健医療大学及び岩手医科大学による監査を実施した結果の報告があり、原案通り承認された。
- ④ 平成25年度事業計画(案)について
事務局から、総会資料29～31ページのとおり提案があり、原案通り承認された。平成25年度合同研修会については、総会資料31ページの

とおり宮城地区が当番地区であることを確認した。

- ⑤ 平成25年度予算(案)について
- ⑥ 平成25年度記念事業基金予算(案)について
事務局から、総会資料33ページのとおり提案があり、一括して審議の後、原案通り承認された。
- ⑦ 役員館の選任について
事務局から、総会資料35ページに基づき、提案理由について説明があり、常任幹事館として東北大学が選任された。
また、幹事館及び会計監査館については、各部会での協議により選任のうえ、全体会議にて各部会から報告することとなった。
- ⑧ 第69回総会の当番地区（館）について
事務局から総会資料37ページにより提案理由について説明があり、次回当番地区が岩手地区であることを確認した。当番館は、内諾をいただいた岩手大学にお願いすることで承認された。

(3) その他（承合事項）

提案館の東北大学から、承合事項「東日本大震災における図書館被災の記録作成の取組みについて」の説明があり、東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループにおける検討結果の中間まとめが別冊資料として配布された。また、今回の承合事項に対する各館の回答をこのワーキング・グループで活用させていただく旨の説明と、回答に対する御礼があった。

4. 大学教育部会報告

東北学院大学中央図書館の佐藤恵氏から、平成24年度に大学教育部会が実施したアンケート調査の結果および「学生の主体的な学修」に関する部会の取組みについての報告があった。

5. 部会

国公私立各部会に分かれて、会合がなされた。

6. 全体会議

- (1) 各部会から、部会で行った意見交換等について報告があった。

- ① 国立大学部会 報告館：弘前大学
 - ・幹事館として弘前大学を選任した。
 - ・アクティブ・ラーニングへの対応や、電子ジャーナルの購入に関する国立大学の動向について報告された。
- ② 公立大学部会 報告館：青森県立保健大学
 - ・幹事館として山形県立米沢女子短期大学を選任した。
 - ・監査館として秋田公立美術大学を選任した。
 - ・アクティブ・ラーニングについての意見交換
- ③ 私立大学部会 報告館：八戸工業大学
 - ・幹事館として東北学院大学、八戸学院大学を選任した。
 - ・監査館として東北工業大学を選任した。

(2) その他（質疑・応答）

宮城教育大学から国際教養大学に対してアクティブ・ラーニングについての質問があり、それに対する回答があった。

7. 閉会式

次期当番館である岩手大学情報メディアセンター図書館の西崎館長から、挨拶があった。
最後に、常任幹事館である東北大学附属図書館の植木館長から、閉会の挨拶があった。

以上

第68回総会出席者名簿

(国 立)

大学図書館名	職名	氏名
弘前大学附属図書館	館長	長谷川成一
弘前大学附属図書館	研究推進部長	山崎淳一郎
弘前大学附属図書館	学術情報課長	工藤弘文
弘前大学附属図書館	学術情報課企画管理グループ係長	宮川順子
岩手大学情報メディアセンター図書館	情報メディアセンター長(兼図書館長)	西崎滋
岩手大学情報メディアセンター図書館	情報メディア課長	三浦俊弘
岩手大学情報メディアセンター図書館	情報メディア課副課長	竹谷隆則
岩手大学情報メディアセンター図書館	情報メディア課情報メディア企画グループ主査	常川里美
東北大学附属図書館	図書館長	植木俊哉
東北大学附属図書館	事務部長	井上修
東北大学附属図書館	総務課長	米澤誠
東北大学附属図書館	総務課長補佐	清野英之
東北大学附属図書館 医学分館	事務長	小澤浩
宮城教育大学附属図書館	図書館長	遠藤仁
宮城教育大学附属図書館	学術情報課長	佐藤初美
秋田大学附属図書館	図書館・情報推進課長	大沼忠弘
山形大学小白川図書館	図書館長	新宮学
山形大学小白川図書館	涉外部長	水井義武
山形大学小白川図書館	小白川キャンパス事務部図書課長	荒木隆幸
福島大学附属図書館	学術情報課長	武内由美
計		20

(公 立)

大学図書館名	職名	氏名
青森公立大学図書館	主査	大久保 寛樹
青森県立保健大学附属図書館	図書館長	入江 良平
青森県立保健大学附属図書館	主査	山田 奈々
岩手県立大学メディアセンター	教育研究支援課長	高松 秀一
宮城大学総合情報センター	事務部学務課教務 第二G主事	松井 麻子
秋田県立大学図書・情報センター	学生チームリーダー	細山 雅樹
国際教養大学図書館	ライブラリー チームリーダー	勝浦 栄子
山形県立保健医療大学附属図書館	図書・調整主査	保利 真澄
会津大学情報センター附属図書館	事務長	半澤 勝造
福島県立医科大学附属学術情報センター	主任司書	秋葉 さおり
計		10

(私 立)

大学図書館名	職 名	氏 名
八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館	情報メディア課課長	浜 章夫
八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館	情報メディア課 課長補佐	織戸 浩
八戸工業大学図書館	図書館長	鈴木 寛
八戸工業大学図書館	図書館・情報事務 室事務長	得丸 雅夫
八戸工業大学図書館	司 書	笛山 由紀子
弘前学院大学附属図書館	図書館事務	柴田 拓也
青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター	リーダー	葛西 崇文
岩手医科大学附属図書館	学事総務課図書係長	芳賀 真理子
富士大学図書館	調査役	高橋 直樹
盛岡大学図書館	館 長	林 稔
盛岡大学図書館	事務室長	三戸 孝子
岩手看護短期大学図書館	館長(教授)	三田 光男
岩手看護短期大学図書館	司書(助教)	三田 加奈
仙台大学附属図書館	図書館長 教授	鈴木省三
仙台白百合女子大学図書館	図書館事務長	生出 登
石巻専修大学図書館	図書館長	羽田紘一
石巻専修大学図書館	事務課掛長	新田恒裕
東北学院大学中央図書館	館 長	中川清和
東北学院大学中央図書館	課長補佐	須田充彦
東北学院大学中央図書館	図書部図書情報課	佐藤 恵
東北工业大学附属図書館	図書館次長・准教授	佐藤 夏子
東北福祉大学図書館	館 長	高橋 美由紀
東北福祉大学図書館	課 長	本間 雅人
東北福祉大学図書館	課長補佐	中塚 晶
東北文化学園大学総合情報センター図書館	総合情報センター長	森田 慎二郎

(私 立)

大学図書館名	職名	氏名
東北薬科大学附属図書館	主任	島田 あすか
東北生活文化大学・同短期大学部附属図書館	館長	土井 豊
東北生活文化大学・同短期大学部附属図書館	司書	村山 智美
羽陽学園短期大学附属図書館	館長	柏倉 弘和
東北文教大学附属図書館	図書館館長	畠山 孝男
奥羽大学図書館	主任	佐藤 夏美
郡山女子大学図書館	司書係長	和知 剛
計		32
合計		62

図書館統計年報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物面積	職員数		蔵書冊数					平成 24 年度増加冊数			平成 24 年度図書購入費
		図書館職員	内臨時職員	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書	計	
弘前大学	m ²	人	人	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	千円
弘前大学	6,102	19	10	496,159	162,579	658,738	146,825	0	7,294	2,016	9,310	27,130
" 医学部分館	1,569	5	3	100,122	74,871	174,993	41,993	0	1,568	635	2,203	2,665
岩手大学	9,089	28	15	665,638	194,592	860,230			7,824	906	8,730	24,140
東北大学	18,215	62	32	1,545,205	1,146,809	2,692,014	196,908		32,023	5,424	37,447	151,604
" 医学分館	4,476	19	12	166,546	250,859	417,405	417,405		-6,620	-8,143	-14,763	15,162
" 北青葉山分館	3,356	10	6	82,947	304,116	387,063	387,063		1,731	1,692	3,423	19,158
" 工学分館	5,335	18	8	172,686	179,902	352,588	352,588	0	5,434	3,227	8,661	24,610
" 農學分館	1,279	6	3	82,793	61,536	144,329	144,329	0	4,578	760	5,338	10,634
宮城教育大学	2,934	11	5	304,129	48,827	352,956	332,314		7,140	256	7,396	13,844
秋田大学	4,604	9	10	304,571	111,957	416,528	293,601	0	5,825	804	6,629	13,486
" 医学図書館	1,717	7	5	50,350	56,920	107,270			1,025	223	1,248	5,486
山形大学小山川図書館	7,626	15	7	527,655	185,135	712,790	168,609		-4,254	-802	-5,056	23,691
" 医学部図書館	1,195	7	4	35,162	55,501	90,663	90,663		-3,519	-10,029	-13,548	4,995
" 工学部図書館	3,259	5	3	114,187	57,286	171,473	72,430		1,318	482	1,800	11,493
" 農業学部図書館	969	3	1	79,453	17,012	96,465	13,605		1,007	59	1,066	3,199
福島大学	7,218	23	13	650,463	230,985	881,448	122,282		13,838	1,274	15,112	45,245
青森公立大学	3,337	6	4	129,809	44,803	174,612	174,612	1,530	3,774	186	3,960	9,830
青森県保健大	1,850	7	4	83,083	23,865	106,948	106,948		2,548	204	2,752	10,829
岩手県立大学	6,245	13	3	234,522	61,879	296,401	178,092		5,803	684	6,487	10,811
宮城大学大和キャンパス	2,193	7	6	95,718	15,385	111,103	70,671	470	6,864	845	7,709	15,501
" 太白キャンパス	943	5	4	55,723	6,494	62,217	45,983	585	2,064	549	2,613	7,422
秋田県立大学	4,879	9	7	187,973	44,085	232,058	170,293	2,363	7,154	2,357	9,511	19,677
秋田公美工短	1,194	5	1	45,470	37,188	8,282			2,221	71	2,292	4,000
国際教養大学	1,816	2	0	24,142	46,337	70,479			1,354	913	2,267	7,704
山形保健医大	890	6	5	56,042	6,709	62,751			1,533	100	1,633	4,130
米沢女子短大	984	4	3	99,965	7,515	107,480	101,712		1,461	12	1,473	1,338
会津大学	2,446	8	4	58,137	70,032	128,169	71,417	1,236	1,400	453	1,853	4,445
会津大学短大	443	3	1	69,969	7,270	77,239			2,115	29	2,144	2,727
福島県立医大	3,400	8	2	127,101	93,664	220,765	205,982	0	2,831	499	3,330	70,002
青森大学	2,729	3	0	137,880	22,240	160,120	0	0	1,158	21	1,179	6,306
東北女子大学	559	2	0	35,244	4,516	39,760	39,760	0	1,447	47	1,494	4,390
八戸学院大学・八戸短期大学	1,636	5		151,851	14,048	165,899	165,899	997	2,519	19	2,538	600
八戸工業大学	2,126	6	1	104,656	26,477	131,133	27,539		838	225	1,063	2,934
弘前学院大学	1,280	2		85,124	18,913	104,037	104,037	0	1,154	157	1,311	1,842
青森中央学院大学	1,585	8	2	76,134	4,899	81,033	63,223		1,911	240	2,151	4,042
岩手医科大学	5,054	15	8	145,825	135,572	281,397	252,737	1,414	2,849	609	3,458	10,531
富士大学	1,225	5	1	160,613	30,385	190,998	47,572	334	2,656	66	2,722	5,138
盛岡大学	2,081	8	1	149,538	22,489	172,027	71,918		6,283	290	6,573	9,904
修紅短期大学	206	2	0	13,650	234	13,884	11,748	1,902	474	0	474	851
岩手看護短大	183	4	0	19,270	2,359	21,629	18,414		459	4	463	352
仙台大学	1,120	2	0	98,625	17,012	115,637			3,290	263	3,553	4,118
仙台白百合女子大学	1,442	7	3	83,531	9,904	93,435	93,435	689	2,605	23	2,628	6,137
石巻専修大学	3,496	4	0	106,792	60,116	166,908			4,528	1,136	5,664	16,090
東北学院大学中央	7,602	30	24	425,780	277,822	703,602	171,232		8,220	3,810	12,030	78,260
東北洋大学多賀城	2,776	8	6	97,808	59,119	156,927	155,262		2,424	291	2,715	12,358
東北学院大学泉	6,100	15	12	222,824	102,130	324,954	136,943		6,489	2,345	8,834	38,226
東北工業大学	2,977	7	0	187,407	54,848	242,255	66,331		5,564	383	5,947	13,195
東北福祉大学	4,205	12	2	294,585	68,376	362,961	151,154		11,586	1,021	12,607	59,804
東北文化学園	1,982	4	3	100,179	15,760	115,939	74,628	0	2,765	20	2,785	8,365
東北薬科大学	2,036	6	3	63,148	42,408	105,556			1,841	344	2,185	85,070
宮城学院女大	3,215	0	0	295,095	104,804	399,899	55,792	743	2,910	682	3,592	20,367
尚絅学院大学	2,338	9	0	113,154	24,737	137,891	115,645		2,916	116	3,032	14,000
聖和学園短大	428	2	0	53,151	1,281	54,432	30,232	0	629	0	629	1,550
仙台青葉学院短大	214	1	0	10,645	922	11,567	9,936	0	231	15	246	500
東北生活文化大学	660	2	0	68,027	342	68,369	68,369	0	936	9	945	3,560
ノースアジア大学	1,689	3	0	149,427	28,429	177,856	92,812		1,296	36	1,332	4,112
東北芸工大学	2,155	3	1	132,207	15,378	147,585	147,585	0	4,133	247	247	14,975
羽陽学園短大	705	2	0	56,481	2,364	58,845	58,845		1,223	7	1,230	2,610
東北文教大学同短大	1,533	6	2	110,321	8,399	118,720	71,877	548	1,539	7	1,546	4,578
東北公益短大	1,517	5	4	89,842	9,978	99,820	85,599	286	1,891	139	1,752	3,089
いわき明星大学	4,943	2	0	197,424	55,548	252,972	70,835		5,645	434	6,079	22,522
奥羽大学	2,635	6	0	146,742	93,206	239,948	239,948		-101	92	-9	1,744
郡山女子大学	1,651	4	0	100,450	14,364	114,814	90,000	0	1,394	15	1,409	2,754
東日本国際大	1,221	2	0	70,405	10,176	80,581	80,581		991	18	1,009	2,091
日本大工学部	5,006	12	8	214,290	118,634	332,924	332,924	0	1,441	602	2,043	4,992
桜の聖母短大	642	2	1	48,629	9,462	58,055	58,055		896	104	1,000	2,114
福島学院大学	2,190	4	2	73,612	5,604	79,216	79,216		1,504	3	1,507	3,782

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成 24 年度分)

図書館名	図書館利用状況								文献複写					
	対象学生数	学生				対象職員数	教職員				学内分			
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出					
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数				
弘前大学	人 6,915	人 人	冊 冊	人 19,099	冊 34,451	1,838	人 人	冊 冊	人 1,190	冊 2,684	件 240	件 2,212	件 2,452	
" 医学部分館				7,310	12,537				886	1,758	174	3,687	3,861	
岩手大学	5,921			15,785	30,940	771			1,323	2,906	2,211	1,727	3,938	
東北大学	18,346			72,903	146,305	9,908			7,086	20,388	5,776	3,446	9,222	
" 医学分館	2,033			10,597	17,763	3,762			1,726	3,297	124	1,730	1,854	
" 北青葉山分館	3,004			10,266	16,475	790			1,054	1,962	1,686	1,517	3,203	
" 工学分館	6,677			24,168	44,201	1,664			1,690	3,437	132	1,665	1,797	
" 農学分館	1,091				9,026	187				823	752	1,091	1,843	
宮城教育大学	1,667			12,112	28,496	567			1,081	3,046	77	460	537	
秋田大学	5,261			16,749	33,385	2,660			1,003	2,373	1,209	828	2,037	
" 医学図書館	1,375			7,210	12,191	1,507			654	2,176	1,866	2,778	4,644	
山形大学小白川図書館	4,574			17,552	37,980	862			1,527	3,904	200	1,309	1,509	
" 医学部図書館	1,023			5,398	9,578	1,717			1,358	2,473	333	3,942	4,275	
" 工学部図書館	3,570			8,207	17,170	470			493	1,300	29	171	200	
" 農業部図書館	620			1,884	3,629	172			124	201	33	168	201	
福島大学	4,495			12,838	38,137	707			3,245	6,838	5,119	999	6,118	
青森公立大学	1,348			5,493	11,211	98			398	1,012	48	28	76	
青森県保健大	951			10,079	27,188	410			936	3,534	7,074	2,209	9,283	
岩手県立大学	2,603			9,991	19,945	500			1,598	3,469	1,484	900	2,384	
宮城大学大和キャンパス	1,374			7,980	19,918	258			658	2,157	1,820	3,218	5,038	
" 太白キャンパス	579			3,292	6,446	102			402	923	674	133	807	
秋田県立大学	1,833				29,727	451				4,310	899	846	1,745	
秋田公美工短	413				4,772	84				929	251	70	321	
国際教養大学	937				10,769	202				1,419	45	1	46	
山形保健医大	395			3,143	6,351	79			641	894	1,333	848	2,181	
米沢女子短大	647	24,535		4,786	10,693	108	1,127		448	966	377	134	511	
会津大学	1,291			6,194	10,973	109			610	1,217	312	519	831	
会津大学短大	330			2,282	5,015	179			524	2,391	58	4	62	
福島県立医大	1,205			7,543	14,040	2,662			1,550	3,861	3,162	3,162		
青森大学	1,068				408	133				104	220	2	222	
東北女子大学	378	10,781			1,320	101	1,983			707	1,618	10	1,628	
八戸学院大学・八戸短期大学	951	20,423		2,927	7,012	801	1,365		541	1,758	940	107	1,047	
八戸工業大学	1,233			431	790	217			54	111	158	158		
弘前学院大学	757			1,265	2,636	178			365	1,610	365	9	374	
青森中央学院大学	1,307			438	7,481	270			78	1,698	328	328		
岩手医科大学	2,200			3,647	6,451	3,634			2,539	5,439	2,488	2,663	5,151	
富士大学	887			1,054	2,302	144			271	621	310			
盛岡大学	2,132	37,832		4,917	10,732	310	1,186		524	1,603	2,003	129	2,132	
修紅短期大学	181			108	1,107	57			13	13	1	1	2	
岩手看護短大	251			666	1,122	97			101	214	45	0	45	
仙台大学	2,500			1,553	2,703	290			117	280	26	1	27	
仙台百合女子大学	1,098			2,204	4,602	103			200	467	413	15	428	
石巻専修大学	1,618			1,693	2,759	161			506	1,066	291	133	424	
東北学院大学中央	11,926			8,684	16,086	1,132			1,783	4,203	3,152	588	3,740	
東北学院大学多賀城	11,926			3,086	6,265	1,132			703	1,773	562	233	795	
東北学院大学泉	11,926			11,914	21,799	1,132			1,310	2,725	3,152	588	3,740	
東北工業大学	2,938				3,781	7,119	254			445	863	479	39	518
東北福祉大学	5,471			15,346	29,007	1,259			986	2,516	389	772	1,161	
東北文化学園	2,902			4,775	6,633	301			602	1,146	2,561	390	2,951	
東北薬科大学	2,164			1,994	3,409	189			1,130	441	2,879	280	3,159	
宮城学院女大	3,178			12,084	23,955	609			998	2,675	1,196	1,107	2,303	
尚絅学院大学	1,800			5,347	11,287	245			767	2,710	334	40	374	
聖和学園短大	506	8,290		1,111	1,826	142	1,367		171	321	767	2	769	
仙台青葉学院短大	420			2,211	3,795	53			102	199	625	24	649	
東北生活文化大学	575			1,272	2,717	120			413	1,230	246	20	266	
ノースアジア大学	830				644	1,171	116			295	1,027	200	53	253
東北芸工大学	2,260			12,223	28,488	169			906	2,552	2,629	123		
羽陽学園短大	270			1,762	4,470	65			129	556	22	22		
東北文教大学・同短大	701	26,165		3,707	6,818	117			270	862	165	9	174	
東北公益分科大学	689				5,457	83				1,247	299	233	532	
いわき明星大学	1,517			6,554	13,222	347			878	2,090	1,304	190	1,494	
奥羽大学	999	24,200		1,906	3,125	444	10,371		871	1,686	6,712	317	7,029	
郡山女子大学	790				223					958	280	106	386	
東日本国際大	785	6,853		840	1,540	173	1,295		372	914	32	44	76	
日本大工学部	4,859	67,279		4,410	9,359	437	2,106		737	7,708	343	625	968	
桜の聖母短大	338	16,378		1,932	4,100	95	1,579		432	954	92	92		
福島学院大学	1,016			1,722	3,087	126			197	365	3	198	201	

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類・製本冊数

(平成 24 年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分					
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	冊数	金額	
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊数	千円
弘前大学	14,565	3,958	18,523	2,113	258	2,371	482	218	700	21,584	109	193
" 医学部分館	4,124	2,509	6,633	620	248	868	101	179	280	27,470	1,133	2,100
岩手大学	8,998	2,147	11,145	6,344	322	6,666	334	121	455	9,644	801	1,713
東北大学	25,996	16,993	42,989	4,749	2,578	7,327	1,155	1,632	2,787	162,950	4,895	9,444
" 医学分館	4,799	8,686	13,485	1,200	1,443	2,643	308	1,242	1,550	11,236	3,118	5,911
" 北青葉山分館	2,267	7,131	9,398	440	1,043	1,483	91	354	445	1,634	1,729	3,354
" 工学分館	3,510	4,524	8,034	812	671	1,483	196	381	577	34,940	803	1,594
" 農学分館	3,844	1,796	5,640	777	260	1,037	119	92	211	17,734	524	997
宮城教育大学	3,137	724	3,861	732	88	820	408	85	493	8,826	183	406
秋田大学	6,632	2,629	9,261	940	167	1,107	221	142	363	9,617	447	820
" 医学図書館	1,651	1,665	3,316	564	132	696	137	109	246	9,046	344	637
山形大学小泊川図書館	9,895	3,153	13,048	1,970	252	2,222	354	164	518	9,286	45	97
" 医学部図書館	3,009	1,811	4,820	705	379	1,084	175	305	480	37,758	0	0
" 工学部図書館	1,968	1,348	3,316	363	40	403	52	19	71	2,250	247	435
" 農学部図書館	2,526	622	3,148	452	26	478	116	14	130	1,776	199	348
福島大学	11,183	3,107	14,290	3,436	310	3,746	472	189	661	16,106	1,454	2,679
青森公立大学	154	30	184	192	127	319	167	127	294	18,465	250	488,250
青森県保健大	930	263	1,193	543	111	654	243	104	347	12,776	100	197
岩手県立大学	474	324	798	432	323	755	416	322	738	15,053	810	1,615
宮城大学太白キャンパス	2,316	625	2,941	670	64	734	247	54	301	11,346	0	0
" 太白キャンパス	2,118	259	2,377	578	76	654	138	53	191	6,262	0	0
秋田県立大学	3,010	1,037	4,047	829	262	1,091	410	236	646	19,216	1,114	2,170
秋田公美工短	155	66	221	62	31	93	60	31	91	1,715	0	0
国際教養大学	76	106	182	76	106	182	61	98	159	3,946	104	200
山形保健医大	1,102	792	1,894	460	236	696	71	84	155	7,586	0	0
米沢女子短大	194	21	215	102	16	118	92	16	108	1,338	38	83
会津大学	580	836	1,416	247	128	375	83	128	211	24,371	0	0
会津大学短大	97	88	185	96	18	114	96	18	114	2,094	0	0
福島県立医大	4,482	2,964	7,446	874	172	1,046	258	106	364	55,851	1,115	2,099
青森大学	233	201	434	134	6	140	113	6	119	1,322	0	0
東北女子大学	103	44	147	69	18	87	69	18	87	2,727	59	167
八戸学院大学・八戸短期大学	821	113	934	842	113	955	915	0	915	685	0	0
八戸工業大学	857	611	1,468	143	27	170	143	27	170	4,821	218	402
弘前学院大学	744	47	791	90	42	132	90	42	132	319	34	58
青森中央学院大学	223	75	298	175	52	227	169	52	221	6,630	0	0
岩手医科大学	5,305	2,909	8,214	1,098	401	1,499	344	342	686	9,664	958	1,746
富士大学	2,802	229	3,031	1,116	52	1,168	150	52	202	7,449	0	0
盛岡大学	2,727	251	2,978	926	53	979	153	52	205	5,766	8	16
修紅短期大学	53	0	53	53	0	53	37	0	37	470	22	49
岩手看護短大	190	52	242	53	6	59	50	6	56	1,210	90	189
仙台大学	1,303	160	1,463	136	59	195	136	59	195	6,345	468	889
仙台白百合女子大学	316	99	415	197	85	282	185	85	270	9,200	0	0
石巻専修大学	1,249	776	2,025	323	121	444	291	119	410	40,105	777	1,500
東北学院大学中央	7,558	2,095	9,680	2,561	374	2,935	328	295	623	24,343	508	1,001
東北学院大学多賀城	1,796	1,335	3,131	638	198	836	269	172	441	27,580	260	531
東北学院大学泉	2,792	943	3,735	803	330	1,133	369	305	674	33,623	446	870
東北工业大学	1,206	679	1,885	703	297	1,000	235	277	512	22,942	529	13,325
東北福祉大学	4,316	785	5,101	2,141	416	2,557	496	372	868	41,265	97	513
東北文化学園	687	134	821	258	30	288	150	26	176	5,122	0	0
東北薬科大学	530	456	986	201	82	283	47	70	117	9,516	362	760
宮城学院大学女大	9,544	899	10,443	1,220	215	1,435	355	214	569	18,281	97	315
尚絅学院大学	955	186	1,141	483	62	545	211	61	272	6,212	74	149
聖和学園短大	129	1	130	78	0	78	61	0	61	818	14	29
仙台青葉学院短大	81	15	96	64	9	73	54	9	63	2,030	0	0
東北生活文化大学	149	44	193	88	11	99	83	11	94	1,925	0	0
ノースアジア大学	2,254	305	2,559	1,274	48	1,322	122	46	168	4,986	150	300
東北芸工大学	301	129	430	128	52	180	125	52	177	3,936	0	0
羽陽学園短大	111	12	123	73	5	78	70	5	75	1,034	82	181
東北文教大学・同短大	133	35	168	76	9	85	76	9	85	3,058	0	0
東北公益分科大学	138	28	132	104	9	113	65	8	73	1,421	0	0
いわき明星大学	824	489	1,313	205	89	294	195	88	283	7,760	83	0
奥羽大学	1,151	1,253	2,402	518	153	671	162	126	288	35,039	474	1,329
郡山女子大学	988	91	1,079	163	6	169	151	6	157	3,043	240	479
東日本国際大	234	93	327	106	24	130	106	24	130	2,595	215	433
日本大工学部	1,606	1,351	2,957	223	114	337	211	114	325	22,784	879	1,740
桜の聖母短大	124	34	158	74	14	88	70	13	83	1,569	54	109
福島学院大学	78	14	92	78	14	92	76	14	90	3,055	14	32

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当 番 大 学	回	年	当番地区	当 番 大 学
	昭和			41	61	福 島	島 県立 医科 大学
1	22	宮 城	東 北 大 学	42	62	秋 田	福 田 大 学
2	23	"	仙 台 工業 専門 学校	43	63	東 北	東 北 学 院 大 学
3	24	"	東 北 学 院 大 学		平成		
4	24	"	東 北 大 学	44	元	山 形	大 学
5	25	岩 山	手 形 大 学	45	2	青 森	大 学
6	26	山 青	福 岩 大 学	46	3	宮 岩	大 学
7	27	福 福	秋 田 大 学	47	4	福 宮	大 学
8	28	秋 秋	田 城 大 学	48	5	宮 岩	大 学
9	29	宮 城	城 田 大 学	49	6	宮 岩	大 学
10	30	岩 手	大 学	50	7	秋 田	大 学
11	31	山 手	医 科 大 学	51	8	山 东	大 学
12	32	青 形	形 大 学	52	9	青 森	大 学
13	33	福 秋	田 大 学	53	10	福 岩	大 学
14	34	福 秋	森 大 学	54	11	宮 岩	大 学
15	35	福 宫	島 県立 医科 大学	55	12	奥 盛	大 学
16	36	宮 岩	東 北 大 学	56	13	秋 義	大 学
17	37	岩 岩	手 北 大 学	57	14	東 田	大 学
18	38	福 福	島 形 大 学	58	15	北 田	大 学
19	39	宮 東	北 学 院 大 学	59	16	青 田	大 学
20	40	秋 秋	田 大 学	60	17	山 青	大 学
21	41	宮 山	山 形 大 学	61	18	宮 岩	大 学
22	42	秋 東	北 薬 科 大 学	62	19	岩 福	大 学
23	43	宮 弘	前 州 大 学	63	20	宮 羽	大 学
24	44	秋 奥	北 工業 大 学	64	21	青 羽	大 学
25	45	宮 東	北 工業 大 学	65	22	宮 羽	大 学
26	46	秋 福	島 県立 医科 大学	66	23	福 羽	大 学
27	47	宮 秋	田 経 济 大 学	67	24	秋 羽	大 学
28	48	宮 田	城 教 育 大 学	68	25	山 青	大 学
29	49	山 山	形 前 北 大 学	69	26	岩 宮	大 学
30	50	青 青	宮 前 北 大 学	70	27	宮 宮	大 学
31	51	宮 岩	北 手 大 学	71	28	福 秋	大 学
32	52	福 福	手 岩 大 学	72	29	秋 宮	大 学
33	53	秋 田	島 手 大 学	73	30	宮 山	大 学
34	54	宮 田	城 福 田 大 学	74	31		
35	55	青 秋	形 田 大 学				
36	56	森 山	城 田 大 学				
37	57	森 宮	宮 城 大 学				
38	58	青 岩	前 手 医 科 大 学				
39	59	森 岩	医 手 大 学				
40	60	手 宮	科 北 大 学				

※ 第 64 回総会において第 65 回から 74 回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧【第46回（平成3）～第68回（平成25）】

常任幹事館	幹事館			会計監査館			審査委員館 第62回総会から 論文審査館(平成19年8月まで)
	(国立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学 東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学 宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学 東北福祉大学 いわき明星大学	東北大学 東北学院大学	東北大学 岩手大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学 東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部 東北福祉大学	宮城県農業短期大学 東北薬科大学 富士大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学 東北大学 秋田大学	会津大学 東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学 八戸工業大学 東北工業大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学 東北大学 福島大学	会津大学 山形大学	宮城県農業短期大学 八戸工業大学 東北工業大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学 岩手県立美術工芸短期大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学 東北大学 山形大学	東北大学 弘前大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	東北大学 秋田大学	福島県立米沢女子短期大学 仙台大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学 東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学 山形県立保健医療大学	仙台百合女子大学 秋田経済法科大学	宮城学院女子大学	東北大学 弘前大学	東北大学 弘前大学	宮城県農業短期大学 八戸大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学 東北大学 岩手大学	秋田県立大学 宮城大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	仙台百合女子大学	東北大学 岩手大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学 東北大学 宮城教育大学	岩手県立大学 宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学	岩手県立大学	東北大学 宮城教育大学	東北大学 秋田大学	青森県立保健大学 青森公立大学
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学 東北大学 秋田大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北大学 秋田大学	東北大学 秋田大学	青森県立保健大学 青森公立大学
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学 東北大学 山形大学	福島大学 福島県立医科大学	盛岡大学 仙台大学	福島県立医科大学	東北大学 福島大学	東北大学 秋田大学	盛岡大学 仙台大学
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学 東北大学 山形大学	東北薬科大学 東北県立医科大学	東北文教大学・東北文 教大学短期大学部	山形県立保健医療大学 岩手医科大学	東北大学 山形大学	東北大学 岩手大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北文 教大学短期大学部
第68回総会 (H25.9～H27.8)							

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、隨時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また隨時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館を置く。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内に置く。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

（略）

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）
この会則は、平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができます。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるものほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。

第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。

- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
- (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
- (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。

第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。

第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。

2 推薦は、別紙文書により行う。

3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。

第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。

第6 審査は、会議又はその他の方法による。

第7 推荐調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。

第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。

第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。

第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。

第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。

第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。

2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

○ ○ 大学附属図書館長 殿

○ ○ 大学(附属)図書館長

○ ○ ○ ○ 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

○ ○ ○ ○

別紙(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

○ ○ 大学(附属)図書館

職名	氏名	生年月日	昭和 平成	年 月 日
推薦理由				
業績等	研究のテーマ 又は調査事項			
	発表集会等名			
	発表年月日			
	掲載誌名及び巻号			
	発行年月日			
	発行機関			
	発表者又は著者名			
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)				
図書館業務歴				

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

別紙（第2条第2号該当者）

表彰者推薦調書

○○大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年 月 日
推薦理由						
履歴事項						
年 月 日	勤務内容等（大学等名及び業務）					
～						
～						
～						
～						
～						
～						
～						
～						
加盟館勤務年数計○○年						

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会が実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修の実施
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討WGは、廃止する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成20年9月18日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成20年9月18日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成14年9月20日 第57回東北
地区大学図書館協議会総会決定

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公私立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上の利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回国立
大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回東北
地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 国立大学図書館協会東北地区協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成 12 年 9 月 20 日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成 12 年 9 月 20 日から施行する。

東北地区大学図書館協議会大学教育部会設置要項

平成 24 年 10 月 19 日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に大学教育部会（以下「部会」という。）を設置し、大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討するとともに、協議会としての事業化の企画立案を行い、加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取り組みを強化する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項について活動する。

- 一 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- 二 大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- 三 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

(組織)

第3条 部会は、原則として次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 国立大学部会の委員 2人
- 二 公立大学部会の委員 1人
- 三 私立大学部会の委員 3人

2 部会に主査を置き、前項に掲げる委員の互選によって定める。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成24年10月19日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第5条本文の規定にかかわらず、平成25年8月31日までとする。

加盟館職員名簿

(平成26年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) - 39 - 3155

FAX番号 (0172) - 39 - 3171

E-mail jm3155@cc.hirosaki-u.ac.jp

館長 (併)教授 郡千寿子
事務責任者 研究推進部長 山崎淳一郎
学術情報課課長 三上豊

【岩手大学図書館】

電話番号 (019) - 621 - 6082

FAX番号 (019) - 621 - 6088

E-mail lsomu@iwate-u.ac.jp

図書館長(併)副学長(評価・情報統括管理担当)

横山英信

副館長 (併)教授 麦倉哲
事務責任者 学術情報課長 三浦俊弘

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) - 795 - 5911

FAX番号 (022) - 795 - 5909

E-mail lib-syom@bureau.tohoku.ac.jp

館長 理事 植木俊哉
副館長 (併)教授 西尾剛
事務責任者 事務部長 米澤誠

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) - 717 - 7973

FAX番号 (022) - 717 - 7982

E-mail lib-med@bureau.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 丸山芳夫
事務責任者 医学分館事務長 菅原昇一

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) - 795 - 6368

FAX番号 (022) - 795 - 3753

E-mail klib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 河野裕彦
事務責任者 管理係長 田中朱美

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) - 795 - 5892

FAX番号 (022) - 795 - 7120

E-mail elib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 進藤裕英
事務責任者 専門員 尾馬庸二

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) - 717 - 8882

FAX番号 (022) - 274 - 2127

E-mail alib@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 藤井智幸
事務責任者 図書係長 菅原透

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) - 214 - 3348

FAX番号 (022) - 214 - 3351

E-mail toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

館長 (併)教授 遠藤仁
事務責任者 学術情報課長 佐藤初美

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) - 889 - 2273

FAX番号 (018) - 832 - 4917

E-mail soumu@lib.akita-u.ac.jp

館長 (併)教授 清水徹男
事務責任者 図書館・情報推進課長 森谷めぐみ

【秋田大学附属図書館医学図書館】

電話番号 (018) - 884 - 6052

FAX番号 (018) - 884 - 6252

E-mail ibun@lib.akita-u.ac.jp

分館長 (併)教授 田中正光
事務責任者 主査 菅野久美子

【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) - 628 - 4840

FAX番号 (023) - 628 - 4849

E-mail k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

図書館担当副学長 理事・副学長 安田 弘法

事務責任者 教育・学生支援部学務課長

棚井 信良

【山形大学小白川図書館】

電話番号 (023) - 628 - 4904

FAX番号 (023) - 628 - 4915

E-mail jkasomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 小川 雅子

事務責任者 図書課長 荒木 隆幸

【山形大学医学部図書館】

電話番号 (023) - 628 - 5054

FAX番号 (023) - 628 - 5059

E-mail itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 細矢 貴亮

事務責任者 係長 小野 明子

【山形大学工学部図書館】

電話番号 (0238) - 26 - 3019

FAX番号 (0238) - 26 - 3408

E-mail koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 多賀谷 英幸

事務責任者 総務課長 奥山 利弘

【山形大学農学部図書館】

電話番号 (0235) - 28 - 2810

FAX番号 (0235) - 28 - 2815

E-mail notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 菊間 満

事務責任者 係長 青木 幸子

【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) - 548 - 8083

FAX番号 (024) - 548 - 2377

E-mail k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp

館長(副学長) (併)教授 千葉 悅子

事務責任者 学術情報課長 大沼 忠弘

【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) - 764 - 1551

FAX番号 (017) - 764 - 1591

E-mail lib@bb.nebuta.ac.jp

館長 (併)教授 藤井 一弘

事務責任者 図書館・情報TL 大久保 寛樹

事務責任者 図書館専門員 小田 真邦子

【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) - 765 - 2011

FAX番号 (017) - 765 - 2012

E-mail library@auhw.ac.jp

館長 (併)教授 鈴木 孝夫

事務責任者 総務課総括担当(図書課兼務)

濫谷 文彦

【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) - 694 - 2070

FAX番号 (019) - 694 - 2071

E-mail ipu-library@ml.iwate-pu.ac.jp

メディアセンター長 (併)副学長 斎藤 俊明

宮古短期大学部図書館長 (併)教授 田中 宣廣

事務責任者 教育研究支援室長 小平 浩

【宮城大学総合情報センター】

(大和キャンパス図書館)

電話番号 (022) - 377 - 8313

FAX番号 (022) - 377 - 8383

E-mail tosho@myu.ac.jp

総合情報センター長 (併)教授 茅原 拓朗

事務責任者 事務部学務課

教務第1グループリーダー 篠野 一浩

(太白キャンパス図書館)

総合情報センター長 (併)教授 茅原 拓朗

事務責任者 事務部学務課

教務第2グループリーダー 佐藤 尚志

【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) - 872 - 1561
FAX番号 (018) - 872 - 1674
E-mail a_library@akita-pu.ac.jp

図書・情報センター長 理事 小林 淳一
事務責任者 事務局次長 澤田 昇

【秋田公立美術大学附属図書館】

電話番号 (018) - 888 - 8106
FAX番号 (018) - 888 - 8107
E-mail library01@akibi.ac.jp

館長 (併)教授 島屋純晴
事務長 (兼)総務課長補佐 藤原健一

【国際教養大学図書館】

電話番号 (018) - 886 - 5907
FAX番号 (018) - 886 - 5912
E-mail lib1@aiu.ac.jp

館長(センター長) (併)教授 勝又美智雄
事務責任者 次長兼教務課長 須田幸子

【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) - 686 - 6671
FAX番号 (023) - 686 - 6679
E-mail tkudo@yachts.ac.jp

図書館長 理事 伊橋光二
事務責任者 図書・調整主査 工藤千草

【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) - 37 - 2544
FAX番号 (0242) - 37 - 2554
E-mail library@u-aizu.ac.jp

情報センター長 (併)教授 北道淳司
事務責任者 事務長 半澤勝造

【山形県公立大学法人附属図書館】

電話番号 (0238) - 22 - 7334
FAX番号 (0238) - 24 - 7998
E-mail tosho@yone.ac.jp

館長 教授 吉田歓
事務責任者 図書館管理主査 塩野直美

【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) - 37 - 2458
FAX番号 (0242) - 37 - 2412
E-mail tosho@jc.u-aizu.ac.jp

附属図書館長 (併)教授 井波純

【福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) - 547 - 1687
FAX番号 (024) - 547 - 1996
E-mail lib@fmu.ac.jp

センター長 (併)教授 和田郁夫
学術情報室長 (併)総務課長 玉川芳明

【青森大学附属図書館】

電話番号 (017) - 738-2001 (内441)
FAX番号 (017) - 738 - 0143、(017) - 738 - 2034
E-mail lib@aomori-u.ac.jp

館長 (併)教授 堀端孝俊
事務責任者 図書館課長 竹内圭子

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) - 33 - 2289
FAX番号 (0172) - 33 - 2486
E-mail tosyo@tojo.ac.jp

館長 (併)教授 佐々木隆

【八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館】

電話番号 (0178) - 30 - 1695
FAX番号 (0178) - 30 - 1737
E-mail tosyokan@hachinohe-u.ac.jp

館長 (併)教授 矢野峰生
事務室長 学務部情報メディア課
課長補佐 織戸浩

【八戸工業大学図書館・情報事務室】

電話番号 (0178) - 25 - 8032
FAX番号 (0178) - 25 - 8887
E-mail tosyo@hi-tech.ac.jp

館長 教授 鈴木寛
事務責任者 事務長代行 青井信達

【弘前学院大学附属図書館】

電話番号 (0172) - 34 - 5211 (内線153)

FAX番号 (0172) - 32 - 8768

E-mail sisyo2@hirogaku-u.ac.jp

図書館長 (併)教授 佐藤和博

【青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター】

電話番号 (017) - 728 - 0131

FAX番号 (017) - 738 - 8333

E-mail lib@aomoricgu.ac.jp

図書館情報センター長 (併)青森中央学院大学教授

三田禮造

事務責任者 (併)教育開発推進課長

櫻庭肇

【岩手医科大学附属図書館】

電話番号 (019) - 651 - 5111

FAX番号 (019) - 625 - 8030

E-mail tosho@j.iwate-med.ac.jp

館長 (併)教授 佐藤洋一

分館長 (併)教授 名取泰博

事務責任者 事務室長 芳賀真理子

【富士大学図書館】

電話番号 (0198) - 22 - 4986

FAX番号 (0198) - 23 - 6381

E-mail tosyokan@fuji-u.ac.jp

館長 (併)教授 牧野博

事務責任者 図書課長 佐藤育子

【盛岡大学図書館】

電話番号 (019) - 688 - 5561

FAX番号 (019) - 694 - 1048

E-mail tsannohe@morioka-u.ac.jp

館長 (併)教授 林稔

事務室長 三戸孝子

【修紅短期大学図書館】

電話番号 (0191) - 24 - 2211

FAX番号 (0191) - 24 - 2213

E-mail library@shuko.ac.jp

館長 (併)教授 千葉正

事務責任者 主事 小林薰子

【岩手看護短期大学図書館】

電話番号 (019) - 687 - 3864

FAX番号 (019) - 687 - 3894

E-mail library@iwate-nurse.ac.jp

館長 (併)学長 三田光男

司書 (併)助教 三田加奈

【仙台大学附属図書館】

電話番号 (0224) - 55 - 1399

FAX番号 (0224) - 57 - 2062

E-mail library@sendai-u.ac.jp

館長 (併)教授 丸山富雄

事務責任者 課長 川村隆

【仙台白百合女子大学図書館】

電話番号 (022) - 374 - 5090

FAX番号 (022) - 374 - 4577

E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp

館長(センター長) (併)教授 芳野総子

事務責任者 図書館事務長 生出登

【石巻専修大学図書館】

電話番号 (0225) - 22 - 7718

FAX番号 (0225) - 22 - 7875

E-mail lib@isenshu-u.ac.jp

館長 (併)教授 鈴木均

事務責任者 事務課長 尾崎由明

【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) - 264 - 6491

FAX番号 (022) - 264 - 6490

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

館長 (併)教授 中川清和

事務責任者 図書情報課長 早坂孝司

【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) - 368 - 1206

FAX番号 (022) - 368 - 0777

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 小池和雄

事務責任者 課長補佐 小野寺芳典

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) - 375 - 1174

FAX番号 (022) - 375 - 2121

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分 館 長 (併)教 授 松 本 秀 明
事 務 責 任 者 課 長 補 佐 石 山 仁**【東北工業大学附属図書館】**

電話番号 (022) - 305 - 3126

FAX番号 (022) - 305 - 3127

E-mail yonemiti@tohtech.ac.jp

館 長 (併)教 授 野 本 俊 裕
事 務 責 任 者 事 務 長 米 道 朝 美**【東北福祉大学図書館】**

電話番号 (022) - 717 - 3319

FAX番号 (022) - 717 - 3339

E-mail lib@tfu-mail.tfu.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 美 由 紀
課 長 本 間 雅 人**【東北文化学園大学総合情報センター図書館】**

電話番号 (022) - 233 - 3878

FAX番号 (022) - 233 - 9453

E-mail lib@office.tbgu.ac.jp

セ セン ター 長 (併)教 授 森 田 慎 二 郎
事 務 責 任 者 副 室 長 長 澤 良 信**【東北薬科大学附属図書館】**

電話番号 (022) - 727 - 0061

FAX番号 (022) - 273 - 5255

E-mail library@tohoku-pharm.ac.jp

館 長 (併)教 授 山 下 幸 和
事 務 責 任 者 事 務 課 長 菅 原 健 士**【宮城学院女子大学図書館】**

電話番号 (022) - 279 - 5658

FAX番号 (022) - 279 - 6077

E-mail library@mgu.ac.jp

館 長 (併)教 授 豊 澤 弘 伸
事 務 責 任 者 大 学 事 務 部 長 補 佐 赤 井 史 之**【尚経学院大学図書館】**

電話番号 (022) - 381 - 3440

FAX番号 (022) - 381 - 3441

E-mail library@shokei.ac.jp

館 長 (併)教 授 高 橋 真

【聖和学園短期大学図書館】

電話番号 (022) - 376 - 3151

FAX番号 (022) - 376 - 3155

E-mail seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp

館 長 (併)教 授 関 根 俊 二
事 務 責 任 者 事 務 青 野 美 智 子**【仙台青葉学院短期大学図書館】**

電話番号 (022) - 369 - 8003

FAX番号 (022) - 215 - 0950

E-mail lib@seiyogakuin.ac.jp

館 長 (併)教 授 成 澤 広 幸

【東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (022) - 272 - 7518

FAX番号 (022) - 301 - 5601

E-mail library@mishima.ac.jp

館 長 (併)教 授 土 井 豊

【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) - 836 - 2406

FAX番号 (018) - 836 - 4402

E-mail nauilib@nau.ac.jp

館 長 (併)理事長総室長 佐々木 香
事 務 責 任 者 教務学生課長 山 田 浩 之**【東北芸術工科大学図書館】**

電話番号 (023) - 627 - 2044

FAX番号 (023) - 627 - 2085

E-mail library @ aga.tuad.ac.jp

事 務 責 任 者 教学事務室課長 志 賀 研 吾

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) - 655 - 2385

FAX 番号 (023) - 655 - 2844

E-mail tosho@uyo.ac.jp

館長 (併)教授 田中 ふみ子
事務責任者 図書係長 高橋 明子

【東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (023) - 688 - 7544

FAX 番号 (023) - 688 - 6438

E-mail library@t-bunkyo.ac.jp

館長 教授 畠山 孝男
事務責任者 課長 井上 祐子

【東北公益文科大学メディアセンター】

電話番号 (0234) - 41 - 1177

FAX 番号 (0234) - 41 - 1173

E-mail media@koeki-u.ac.jp

メディアセンター長
事務責任者 事務室主任 剣持 真弓

【いわき明星大学】

電話番号 (0246) - 29 - 7121

FAX 番号 (0246) - 29 - 5001

E-mail library@iwakimu.ac.jp

館長 (併)教授 東之弘
事務責任者 学術情報支援室長 馬目高伸

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) - 932 - 4848

FAX 番号 (024) - 924 - 1394

E-mail library@koriyama-kgc.ac.jp

館長 (併)教授 野沢 謙治
副館長 (併)教授 二宮 和比古
司書係長 (併)非常勤講師 和知 剛

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) - 932 - 8931

FAX 番号 (024) - 932 - 8944

E-mail ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp

館長 安藤 勝
事務責任者 図書課長 黒田 よし子

【東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館】

電話番号 (0246) - 35 - 0416

FAX 番号 (0246) - 41 - 7025

E-mail lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp

館長 (併)教授 北見 正伸

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) - 956 - 8642

FAX 番号 (024) - 956 - 8869

E-mail tosyokan@ao.ce.nihon-u.ac.jp

館長 (併)教授 竹中 豊文
事務責任者 図書館事務課長 永井 義章

【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) - 534 - 7137

FAX 番号 (024) - 531 - 2320

E-mail lib-c@ssjc.ac.jp

センター長代行 (併)講師 石井 美和
事務責任者 司書 津田 文子

【福島学院大学図書館情報センター】

電話番号 (024) - 553 - 2087

FAX 番号 (024) - 553 - 8253

E-mail tosho@fukushima-college.ac.jp

館長 (併)准教授 呂学如
事務責任者 業務課長 佐藤 幸



探す・調べるツールとしての eBook!

図書館向け eBook サービス



<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary/>

NetLibrary のアピールポイント

・フルテキスト検索、コンテンツ間横断検索を実現！

「ググる」ようにフリーキーワードで検索。単語レベルで必要な文献、貢を迅速に入手できます。資料集の横断検索は強力です。

・搭載件数 46 万点、世界最大級のコレクション！

1,500 社の優良出版社が参加。和書は約 80 社、搭載点数約 6000 点 (2014 年 4 月現在)。

これほど多くの学術和書 eBook が利用できるのは、NetLibrary だけ！

・豊富な導入実績！全世界 26,000 以上の図書館が利用！

国内でも大学・研究団体・企業研究所を中心に、300 を超える機関でご利用頂いています。(2014 年 4 月現在)

・紙の本と同じ、1 冊からの買切り方式！

予算のある時、必要な時、フレキシブルに購入頂けます。一度購入すると半永久的アクセス権が保証され、サーバ使用料、年間維持費はかかりません。複数キャンバスをお持ちの大学様ではマルチサイト課金もありません。

・いつでもどこからでも…リモートアクセスが可能！

Username/Password 認証の『個人アカウント』を作成することで、ご自宅からでも 24 時間ご利用頂けます。

・NACSIS 形式の MARC レコードを標準無償提供！

外部 MARC 取り込み可能な各図書館システムの仕様に合わせて、NACSIS-CATP 形式、または MARC21 形式、いずれの形式でも MARC レコードを無償提供します。

・書架スペースの確保！

サーバーの設置も不要。増加する蔵書も eBook なら問題ありません。

NetLibrary 画面例

表紙画像が並ぶ親しみやすいトップ画面。
ロゴ等でのブランディングも可能です。

全文横断検索のほか、著作権範囲内で印刷 PDF ファイルのダウンロード、個人使用的デバイスでの閲覧も可能です。

NetLibrary のお問い合わせ先

説明会・トライアル等隨時承っております。

株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10

Tel: 03-6910-0518 Fax: 03-6420-1359

Mail: nlhelp@kinokuniya.co.jp

東北営業部 仙台営業所

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービルディング

Tel: 022-227-0301 Fax: 022-266-5312

東北営業部 弘前営業所

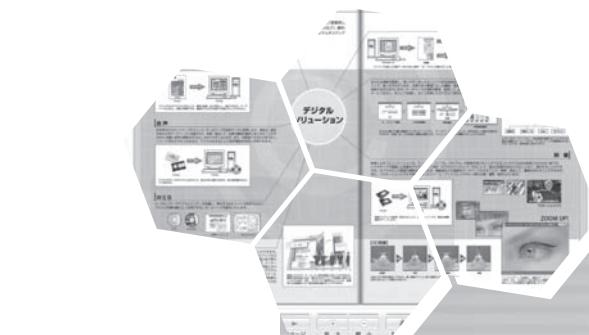
〒036-8182 青森県弘前市土手町 126-1

Tel: 0172-36-3755 Fax: 0172-36-5649

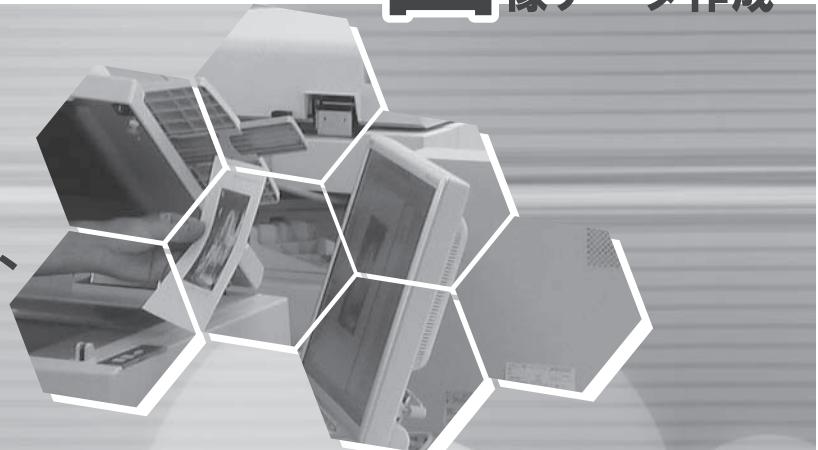
For the wisdom into the Next.

コレクション
ドキュメント
の活用のための

DIGITAL SOLUTIONS



画像データ作成



長期保存対策



検索用メタデータの作成

研究・公開・利用のための、貴重資料や研究成果物などの電子化。

再利用・バックアップ・保管コスト削減のための、書類・図面などのデータ化。

共有・活用、長期保存など、大切な情報資産の有効に欠かせないデジタル化に対し、効率のよいデータ化・コンテンツづくりから、システム構築・Web公開・運用、長期保存対策まで、ワンストップでサポートします。

ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目6-27 TEL:022-284-3045 FAX:022-239-7550

東京本社	〒174-8602	東京都板橋区東坂下2丁目5-1	TEL:03-3558-1251	FAX:03-3558-1260
大阪支社	〒536-0005	大阪市城東区中央2丁目1-23	TEL:06-6930-6668	FAX:06-6935-2667
名古屋支店	〒456-0053	名古屋市熱田区一番2丁目2-6	TEL:052-661-3771	FAX:052-661-3775
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11	TEL:092-641-3661	FAX:092-641-3699

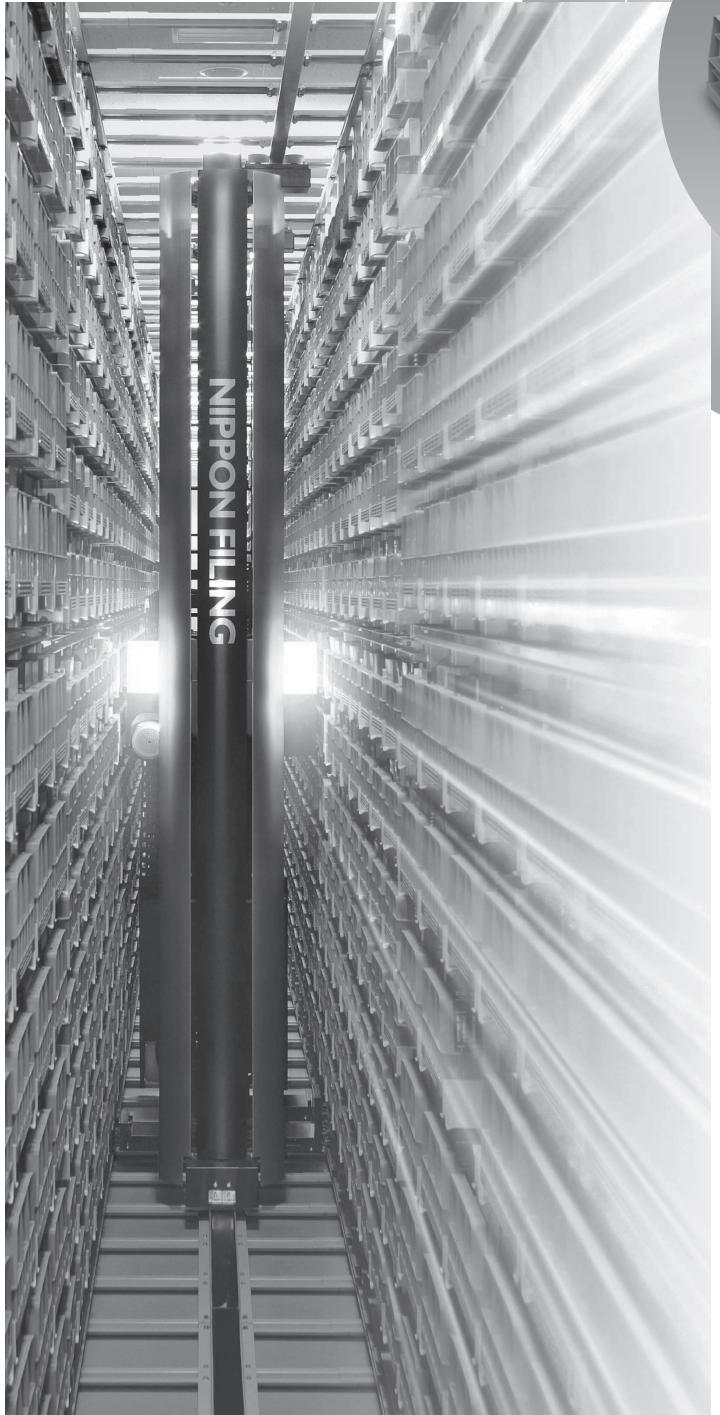
PDFデータ入稿で、原稿を持ち込むことなく製本づくり。
FUERU FINEBOOK: <http://www.fueru.jp/finebook/>

E-mail: toshokan@nakabayashi.co.jp



Auto Lib.

[自動化書庫]



書庫の中の「見える化」を実現。映像システムにより、図書返却直後のコンテナ内図書と書庫データとの照合で、確実な蔵書点検を可能にしました。更にICタグでは、コンテナ内の図書を一括読み取りして、自動確認を極めて高い精度で実現。オートライブならではの短時間で行える蔵書点検システムは、より確実な運用をサポートします。

自動化書庫オートライブの特徴

- 独自の運用システム・管理データにより、従来型書庫では出来なかった新しい利用者サービスの提供
- 出納作業及びカウンター業務の軽減による大幅な省力効果
- 利用者を待たせない高速出納
- 図書・資料の限られた空間への大量保管を実現

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2（新御茶ノ水アーバンビル）
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001

ISO9001

認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎ 0120-808-977 電話受付／月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00



ebrary®

人類学 / ビジネス・経済 / コンピュータ・IT / 教育 / 芸術 / 歴史 / 言語・文学 / 法律 / 生命科学 / 医学 / 物理化学 / 心理学 / 宗教 / 社会科学 / テクノロジー ほか

60万タイトル以上を収録

ebrary は世界有数の出版社約 500 社から出版された eBook を収集し、ひとつのプラットフォームから検索・閲覧できるようにした eBook コレクションです。世界的に信頼が高い出版社から収録された書籍は様々な分野を包括的にカバーし、今後も継続的に追加されていきます。分野別パッケージの年間購読から単独タイトルの買い切りまで、各機関のニーズに合わせたご契約モデルをご用意しました。

- 契約モデル：年間購読、またはタイトル別買切
- 電子書籍なので遠隔地のユーザーにも 24 時間体制のサービス提供が可能です。
- 同時利用者数に縛られず、同時に複数人が同じ書籍を利用することができます。
- 書架の確保、貸出作業、保存などの手間がかかりません。
- 世界の著名な出版社から出版された様々な分野の最新の書籍をご提供します。
- 収録コンテンツは今後も継続的に追加されます。

The screenshot shows the ebrary search interface. At the top, there are tabs for 'インフォメーション', '検索', 'QuickView', and 'ブックシェルフ'. Below that is a search bar with 'global warming' entered, and a '検索' button. To the right of the search bar are buttons for 'アドバンスト検索非表示' and '全分野'. Underneath the search bar are buttons for 'タイトル表示', 'チャプター表示', and '検索履歴'. The main area displays search results for 'global warming'.

【検索画面】

シンプルかつ見やすいインターフェイスで、基本検索・詳細検索ともに同一画面から始めることができます。

The screenshot shows the search results page for 'global warming'. At the top, there are filters for 'Category' (Global Warming), 'Type' (Book), and 'Language' (English). Below that is a list of search results, each with a title, author, and a brief description. The results are organized into sections such as 'global warming' and 'global warming reference'.

【リスト表示画面】

検索したコンテンツの中でも、最も関連性のあるチャプターを含む書籍がランク順に表示されます。

The screenshot shows the detailed view of a book titled 'Global Warming - What Is It?'. The left sidebar shows navigation options like 'Table of Contents', 'Print', 'Search', and 'Endnote'. The main content area displays the book's introduction and several chapters from the table of contents. The book is described as being about the principles of thermodynamics and their effects on the environment, global warming, and sustainability.

【書籍表示画面】

本文中の選択した語彙や文章を他のオンラインリソースにリンクして調べるなど、さまざまな編集機能があります。

価格・詳細については下記までお問い合わせください。



株式会社 雄松堂書店

本社：〒160-0002 東京都新宿区坂町27 Tel: 03-3357-1411 Fax: 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp
京都：〒604-8101 京都市中京区御池通柳馬場角 京都朝日ビルディング5F Tel: 075-222-0165 Fax: 075-256-2032 E-mail: kb@yushodo.co.jp

無料トライアル随时受付中

Home Page: www.yushodo.co.jp

Maruzen eBook Library

学術情報に特化した電子書籍を提供する
丸善オリジナル・プラットフォーム

<https://elib.maruzen.co.jp/>

- 学術・研究機関 のための 学術情報に特化した電子書籍をご提供
- 研究・学習でのご利用に便利な検索・閲覧機能が充実

ご提供コンテンツ

約11,000 タイトル

(2014年3月現在)



学術機関向けの eBook
参考書 レファレンス
啓蒙書 教養書 専門書

サービス内容



同時アクセス数による価格設定

同時アクセス数1または3での価格をタイトル毎に設定しています。
ご購入後のプラットフォーム使用料、年間維持費用は必要ありません。



初期導入費は不要

ご予算にあわせた eBook の費用だけでご導入いただけます。図書館システムの改修なども必要ありません。



IP アドレスによる認証

ご契約機関のIPアドレスで認証を行います。複数サイト（キャンパス）でも追加の費用は発生しません。
IPアドレスを保有していない機関向けには、ID/パスワード認証で提供します。



リモート・アクセス

外出先・出張先など所属機関の外にいても所属契約が契約しているタイトルを閲覧できます。



便利な検索機能

すべてのタイトル、契約済みタイトル、同一シリーズ内ののみを対象とした全文検索ができます。
また、ひとつの eBook 内では目次や索引語などからも閲覧ができる便利な機能を備えています。



MARC を無償でご提供

図書館の OPAC からリンクしていただけるよう、CAT-P 形式の MARC をご提供します。



印刷・ダウンロードも可能

ダウンロードした PDF ファイルは、個人利用の目的に限り各種デバイスで閲覧可能です。
(一回の閲覧につき、ダウンロードは 60 ページまで可能です)

Maruzen eBook Library

画面イメージ



お問い合わせ先

丸善株式会社 学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当

Tel:03-6367-6008 Fax: 03-6367-6184 e-mail: ebook-i@maruzen.co.jp 営業時間：9:00～17:30（土日、祝日、年始年末を除く）



見つめているのは、
人びとの暮らしです。



人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、
私たちは先進的なICTで貢献します。

NEC東北支社 〒980-6025 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル) TEL:022-267-8760



人と地球にやさしい情報社会へ

<http://jpn.nec.com/>

知的創造性を高め、感性を刺激する空間。
ライブラリーは知の集積から双方向コミュニケーションの場へ。

LIBRARY

図書ラウンジ

ユビキタスネットワーク社会における新しいライブラリーの創造に向け、
イトーキは知的好奇心や感性を刺激する先進空間づくりを総合的に提案します。

シンプルで機能的な構成で、進化する図書館ニーズにフレキシブルに対応するライブラリーフurniture。さまざまな空間にマッチする質の高い意匠性と拡張性で、先進の図書館をサポートします。



通信の電波をシート内に封じ込め、シート上に置いたPCのみネットワーク通信が可能となる新しいLANシステム。「コネクトレス」「セキュリティ」「簡単導入」を同時に実現します。

株式会社イトーキ

東北支店 仙台市青葉区一番町3-3-20 損保ジャパン仙台一番町ビル T980-0811 Tel.022-266-3511
お客様相談センター ☎0120-164177 URL <http://www.itoki.jp/>

Scopus

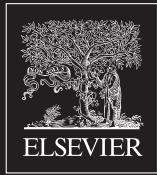
www.scopus.com

英語論文を探すなら Scopus!



待望の日本語インターフェースが登場

全分野対応、世界5,000社以上の出版社から5,000万論文収載
被引用数順に並べ替えで重要な論文も漏らさずチェック



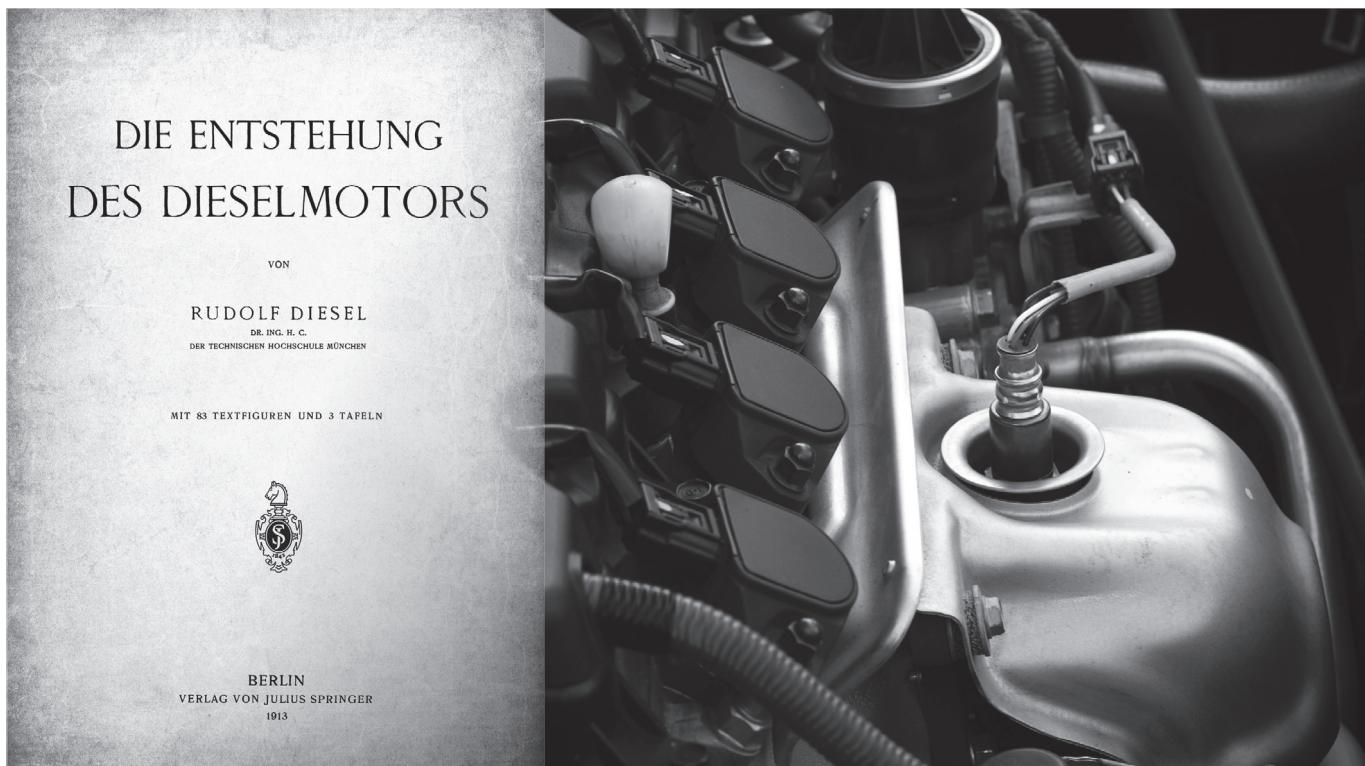
お問い合わせ先

エルゼビア・ジャパン株式会社
サイエンス&テクノロジー

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4階
TEL: 03-5561-5034
E-mail: jp.pr@elsevier.com

世界最大規模の抄録・引用文献データベース

Scopus



1913年 ルドルフ・ディーゼルが著した「ディーゼルエンジンの誕生」当時の表紙より

シュプリンガー・ブック・アーカイブ

Springer Book Archives

真の国際化に向けた
情報基盤の整備を

Digital Library Back to 1842

10万冊の
知の世界へ

springer.com/bookarchives



シュプリンガー・ジャパン株式会社 マーケティング部

- 所在地: 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館 ● 電話: 03-6831-7013 ● ファックス: 03-6831-7006 ● 電子メール: market@springer.jp
- グローバル・サイト: www.springer.com ● ローカル・サイト: www.springer.jp ● Twitter: twitter.com/SpringerJapan ● Facebook: facebook.com/SpringerJapan

Media Runner

図書館向け自動書庫 [メディアランナー]



完全無人状態で 24 時間運用可能！

図書館職員の負担軽減が
利用者へのサービス向上につながります。

メディアランナーは、

無人貸出

自動棚卸

予約本優先貸出

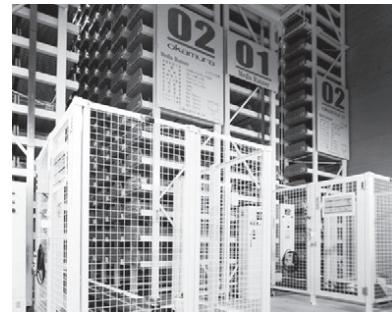
という 3 つの機能を日本で初めて実現した、新時代の自動書庫です。



◎無人貸出

図書の貸出・返却は、利用者自身が簡単な操作で行えます。

- タッチパネルによる簡単操作
- 誤操作を常時チェック



◎自動棚卸

自動書庫内の蔵書点検作業を自動で行うことが可能です。

- IC リーダーによる自動点検
- 自動化により図書館職員の作業負担を軽減し、利用者サービス向上へ



◎予約本優先取出

事前予約された図書は速やかに出庫されます。

- 予約図書をステーション近くに一時保管
- 取り回しのきく垂直回転棚が効果を発揮

[東日本支社 仙台支店]

〒980-0013 仙台市青葉区花京院 1-1-20 花京院スクエア 12 階 TEL:022-712-1491 FAX:022-712-1537

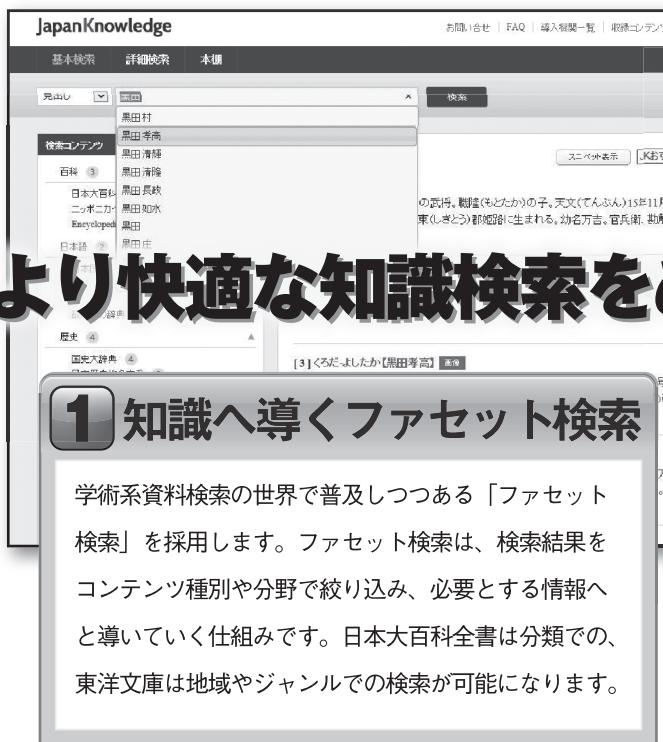
<http://www.okamura.co.jp/> お客様サービスセンター ☎ 0120-81-9060 受付時間 9:00~17:20(土・日・祝日を除く)

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

2014年4月、 ジャパンナレッジがリニューアル!!

<http://japanknowledge.com/library/>



より快適な知識検索をめざす4つのポイント

- 1 知識へ導くファセット検索**

学術系資料検索の世界で普及しつつある「ファセット検索」を採用します。ファセット検索は、検索結果をコンテンツ種別や分野で絞り込み、必要とする情報へと導いていく仕組みです。日本大百科全書は分類での、東洋文庫は地域やジャンルでの検索が可能になります。
- 2 特定コンテンツに直接アクセス**

お客様のポータルサイトから、パーマネントリンクを張ることによって、任意のコンテンツへ直接アクセスすることが可能になります。今までのよう、利用ごとにログインボタンを押す煩わしさを解消いたしました。
- 3 ディスカバリーサービスに対応**

ジャパンナレッジでは、主要なディスカバリーサービスに対して、インデックスデータの提供を予定しております。これにより、図書館検索サービスとのシームレスな連携を可能にする仕組みが実現できるでしょう。
- 4 JKBooksとの統合検索が可能に**

購買商品のJKBooks(旧称: JK セレクトシリーズ、『Web版日本近代文学館』、『風俗画報』など)とプラットフォームを統合することで、ジャパンナレッジ内での一括検索が可能になります。統合した場合JKBooks の年間システム利用料はいただけません。

今回のリニューアルに伴う基本価格の変更はございません。

※消費税の変更には対応となります

快適な空間を創造・ご提案

※トータルプランニングから設計・施工迄
・経験豊富なスタッフが対応します。
・安心・安全・エコな商品を提供します。
・スピーディーな対応をいたします。



営業品目

木製家具・事務用家具・間仕切家具
内装工事(壁・床)・カーテン・ブラインド工事
看板サイン工事・アクリル・ステンレス加工
図書用品・家具リニューアル
建築工事一式・リフォーム工事(レイアウト変更)

取引メーカー

- ・㈱天童木工・カリモク家具㈱・ナゼロ㈱・㈱アダル
- ・㈱イトーキ・愛知㈱・コクヨ東北販売㈱・アイリストセ㈱
- ・㈱スミノエ・㈱川島織物セルコン・立川ブラインド工業㈱
- ・トーソー㈱・㈱品川アート・プロ



ONUMA
CREATION
SERVICE

大沼クリエーションサービス株式会社

<http://www.onuma-cs.co.jp/>

建設業 国土交通大臣認可(般25・第25354号)

本 社 〒990-8571 山形県山形市七日町一丁目2番30号
仙台新 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区福町七丁目5番20号
TEL 022(290)5461 FAX 022(290)5462
山形新 〒990-0043 山形県山形市本町一丁目9番6号 2F
TEL 023(642)1390 FAX 023(642)1392

大沼企業グループ／大沼百貨店・山形本店・米沢店・オーヌマギフトショップ新庄店・㈱大沼保険事業部

東北地区大学図書館協議会誌 第 65 号

平成 26 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内

東北地区大学図書館協議会

☎ (022) 795-5910

編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
